

平成30年度呉市教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）

調査・研究報告書

平成30年7月19日（金）

呉市教科用図書調査・研究委員会

平成30年7月3日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 特別の教科道徳

代表者 呉市立宮原中 学校

氏名 姫宮久夫

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①道徳科の学び方等の示し方
方 法	○オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例

発行者	調査・研究内容		
東書	【オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例】 ※ 記載例で, 学年を明記していないものは, 第1学年のものである。		
	オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
	○ 「道徳の授業はこんな時間に」	・ 折り込み3ページに, ショートストーリーを基に学習の流れを漫画で解説し, 自分の考えを書く欄を4~5箇所と振り返りの欄を1箇所設けている。	・ 「拓哉のなやみ」を読んで, 考えてみよう ・ 道徳科では, よりよく成長するために, 一人一人が自分の心を見つめ, 考えを広げたり深めたりします。
	○ 「話し合いの手引き」	・ 1ページで, 「話し合いのときの約束」及び「司会カード」を掲載している。	・ このページは, 話し合いのときに参考にしましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で, 「道徳の授業はこんな時間に」として, 折り込みページに, ショートストーリーを基に学習の流れを漫画で解説し, 自分の考えを書く欄や振り返りの欄を設けている。また, 「話し合いの手引き」として, 「話し合いのときの約束」や「司会カード」を掲載している。 		
学図	【オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例】 ※ 記載例で, 学年を明記していないものは, 第1学年のものである。		
	オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
	○ 「道徳の学習を始めよう！」	・ 見開きの目次ページの下部に, 道徳の学習の流れを「教材に出会ったとき」「考え、議論するために」「振り返る」の3つで示し, それぞれの学習の進め方や態度等に係る留意点について掲載している。	・ 教材を通して, 自分の心を見つめ, 自分と深く向き合ってみよう。 ・ 「よりよく生きる」ための「生きる軸」を自ら築いていこう。
		<ul style="list-style-type: none"> 全学年とも, 「道徳の学習を始めよう！」として, 見開きの目次ページの下部に, 道徳の学習の流れを「教材に出会ったとき」「考え、議論するために」「振り返る」の3つで示し, それぞれの学習の進め方や態度等に係る留意点について掲載している。 	

【オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例】		
※ 記載例で, 学年を明記していないものは, 第1学年のものである。		
オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「中学生の道徳が始まる」 〔第1学年〕 ○ 「〇年生の道徳が始まる」 〔第2・3学年〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開き2ページで, 道徳の学習で特に深く考えさせたい重点テーマを6つ, 教材名と共に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校での学びを基礎として, 道徳についての学びをさらに深めていきましょう。 ・ 1年生ではこのようなことを学んでいきます 「中学生になって」 「たくさんの友情を育もう」 「夢や目標を見つけよう」
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳って, どんなふうに学習したらいいの?」 〔第1学年のみ〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開き2ページで, 右ページにイラストや吹き出しを基に, 教材を読んだり, 考えたり, 話し合ったりするときの視点や留意したいこと, 左ページに道徳の学び方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分に引きつけて ・ 登場人物の行動や気持ちをとおして考えよう
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年で, 「中学生 (〇年生) の道徳が始まる」として, 見開き2ページで, 道徳の学習で特に深く考えさせたい重点テーマを6つ, 教材名と共に示している。また, 第1学年のみ, 「道徳って, どんなふうに学習したらいいの?」として, 見開き2ページで, 教材を読んだり, 考えたり, 話し合ったりするときの視点や留意したいこと及び道徳の学び方を示している。 		

教出

【オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例】		
※ 記載例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。		
オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
○ 『対話』で広がる、 道徳の時間 〔第1・2学年〕	・ 見開き2ページで、イラストや吹き出しを基に、他者や自己と対話しながら主体的に考えるのが道徳の授業であることを示している。	・ グループやクラスで意見を出し合ったり、議論したりすると、どんなことに気づくだろう。 ・ 自分を見つめると、どんなことに気づくだろう。 ・ 「友達と自分の感想とを比べたとき、考え方の違いがわかって自分を見つめ直せたよ。」
○ 「道徳の時間に学ぶこと」 〔第3学年〕	・ 見開き2ページで、内容項目を簡潔な問いにしたものを「二十二個の鍵」として示している。	・ よりよい生き方って、どんなものなのだろう。それを探していくのが道徳の時間。 ・ 自主、自律、自由と責任:自ら考え判断し、行動するとは?〔第3学年〕
○ 「本書で学ぶ皆さんへ」	・ 1ページで、教材を構成する五つの要素として「①学びのテーマ」「②考える観点」「③見方を変えて」「④つなげよう」「⑤私の気づき」、学びを充実させるためのページとして「コラム」「学びの広場」「学びの記録」を示している。	・ この教科書は、皆さんが主体的に学ぶように、構成を工夫しています。
○ 「どうして『道徳』を学んだらう？」	・ 見開き2ページで、内容項目やイラストを使って道徳を学ぶ意義を示している。	・ 道徳の時間は、よりよい「行動」ができるように、一人一人の「判断」を支える心のありようを、みんなで考えていくためにあります。
<p>・ 第1・2学年の『対話』で広がる、道徳の時間』においては、他者や自己と対話しながら主体的に考えるのが道徳の授業であることを示しており、第3学年の「道徳の時間に学ぶこと」においては、内容項目を簡潔な問いにしたものを「二十二個の鍵」として示している。また、教材を構成する要素や学びを充実させるためのページ、道徳を学ぶ意義について示したページを設けている。</p>		

光村

日文	【オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例】 ※ 記載例で, 学年を明記していないものは, 第1学年のものである。		
	オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
	○ 「道徳科で学ぶこと」	<ul style="list-style-type: none"> 1 ページで, 道徳科で学ぶことの意義についての4コマ漫画及び4つの視点の広がりを図で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳科って、何を学習するのか。 道徳科では、よりよく生きるために大切なこととして、次の内容を学習します。
	○ 「道徳科での学び方」	<ul style="list-style-type: none"> 1 ページで, 道徳科での学び方を「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3つで示すと共に、「学びをより深めるための手立て」を写真を使って4つ示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材をとおして、どんなことが、よいと思っただろうか。どんなことが、道徳的に問題だと考えたであろうか。 自分が考えたことを書いたり、発表したりしよう。
	○ 「道徳ノートのとびら」	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「道徳ノート」に, 1 ページで, 4つの視点ごとに学習したい内容項目をチェックしたり, 自分のことについて記入する欄を設けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよく生きるために大切なことなかで, あなたはとくにどんな内容を学習したいですか。 自分について書いてみよう。
<ul style="list-style-type: none"> 各学年で、「道徳科で学ぶこと」として, 道徳科で学ぶことの意義や4つの視点の広がりを図で表したものを、「道徳科での学び方」として, その流れ及び学びをより深めるための手立てを示している。また, 別冊ノートに「道徳ノートのとびら」として, 4つの視点ごとに学習したい内容項目をチェックしたり, 自分のことについて記入する欄を設けたりしている。 			
学研	【オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例】 ※ 記載例で, 学年を明記していないものは, 第1学年のものである。		
	オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
	○ 「新しい扉を開く」〔第1学年〕 ○ 「明日への扉を開く」〔第2学年〕 ○ 「未来への扉を開く」〔第3学年〕	<ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページで、「考えを深める四つのポイント」として、「1 教材と出会う」「2 教材をもとに考える」「3 話し合い、磨き合う」「4 生き方についての考えを深める」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の教科書を開く／そこには、自分の生き方の手掛かりやヒントがある／心に響く指針があふれている／明日への扉を開く鍵がここにある 話や資料に触れ、自分たちの生活や社会と重ね合わせて、考えたいことを見付ける。
	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の「新しい扉を開く」、第2学年の「明日への扉を開く」、第3学年の「未来への扉を開く」において、「考えを深める四つのポイント」等を示している。 		

【オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例】		
※ 記載例で, 学年を明記していないものは, 第1学年のものである。		
オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分を見つめようー道徳の時間とはー」〔第1学年〕 ○ 「自分を考えようー道徳の時間とはー」〔第2学年〕 ○ 「自分をのぼそうー道徳の時間とはー」〔第3学年〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開き2ページで, 右ページに道徳の時間の意義について, 左ページにその具体として「さまざまな答えがある」「よさや問題点を見つけ, 考える」「ともに考え, 話し合う」「自分を見つめ, 考える」「書くことで, 考えを深める」の5つを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の時間は, そんなあなた自身の心を見つめ, 考え, 将来に向けて伸ばしていく時間です。 ・ 感じたことや気づいたこと, 考えたことを「道徳ノート」に書きましょう。
廣あか つき <ul style="list-style-type: none"> ○ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊「道徳ノート」に, 1ページで, ノート活用の意義等について示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ このノートは, あなたの心の記録です。折りに触れて記入し, 時折, 読み返してみることで, 自己理解を深め, 自らの心の成長を実感することができるでしょう。中学生期のあなたが, 自らの在り方, 生き方を模索し続けた足跡となるノートです。使い終わったあとも大切に保管しておきましょう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年の「自分を見つめよう」, 第2学年の「自分を考えよう」, 第3学年の「自分をのぼそう」において, 見開き2ページで, 右ページに道徳の時間の意義について, 左ページにその具体として「さまざまな答えがある」等の5つを示している。また, 別冊ノートにおいて, ノート活用の意義等について示している。 		

日科	【オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例】 ※ 記載例で, 学年を明記していないものは, 第1学年のものである。		
	オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
	○ 「道徳科って何を学ぶの？」	<ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページで, 4つの視点ごとの内容項目, 道徳科の学習の流れとして「興味・関心をもつ」「教材の内容を理解し, 問題意識を持つ」「みんなで考え, 話し合う」「自分を見つめる」「自分の考えを広げ, 深め, 発展させる」, 多様な考えを知るための6つの方法を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳科の授業は, 物事を広い視野からとらえ, 話し合うことを通して, 人間としてのよりよい生き方についての考えを深める学習の時間です 自分の考えを持ち, 積極的に発言する
	○ 「教科書の使い方」	<ul style="list-style-type: none"> 1ページで, 教科書の使い方を5つ示すと共に, 自分の好きなことや好きな言葉などについて書き込む欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材やコラムを読んで, 自分の考えを持ちましょう。 難しい言葉については, 下段の説明を参考にしましょう。
<ul style="list-style-type: none"> 全学年とも, 「道徳科って何を学ぶの？」として, 4つの視点ごとの内容項目, 道徳科の学習の流れ, 多様な考えを知るための6つの方法を示している。また, 教科書の使い方を5つ示すと共に, 自分の好きなことや好きな言葉などについて書き込む欄を設けている。 			

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②主題名の示し方
方 法	○主題名の示し方, 具体例

発行者	調査・研究内容																		
東書	<p>【主題名の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに, 教材名の右横に, 色別の4つの視点の枠内に, 主題名を「みんなで考える観点」としてマークと共に示している。 <p>【具体例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>主題名</th> <th>教材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>さらなる高みを目指して</td> <td>全てがリオでかみ合った</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>良好な関係を目指して</td> <td>あいさつ</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>信念をつらぬいて生きる</td> <td>背番号15が歩んだ道－黒田博樹</td> </tr> </tbody> </table>				主題名	教材名	第1学年	さらなる高みを目指して	全てがリオでかみ合った	第2学年	良好な関係を目指して	あいさつ	第3学年	信念をつらぬいて生きる	背番号15が歩んだ道－黒田博樹				
		主題名	教材名																
	第1学年	さらなる高みを目指して	全てがリオでかみ合った																
	第2学年	良好な関係を目指して	あいさつ																
	第3学年	信念をつらぬいて生きる	背番号15が歩んだ道－黒田博樹																
<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに, 教材名の右横に, 色別の4つの視点の枠内に, 主題名を「みんなで考える観点」としてマークと共に示している。 																			
学図	<p>【主題名の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに, 色別の4つの視点のマーク及び内容項目と教材名の間に, 主題名を示している。 <p>【具体例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容項目</th> <th>主題名</th> <th>教材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>公正、公平、社会正義</td> <td>差別や偏見のない社会</td> <td>誰も知らない</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>自主、自律、自由と責任</td> <td>自主的な判断と行動</td> <td>裏庭でのできごと</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>自主、自律、自由と責任</td> <td>結果を考え判断する</td> <td>言葉の向こうに</td> </tr> </tbody> </table>				内容項目	主題名	教材名	第1学年	公正、公平、社会正義	差別や偏見のない社会	誰も知らない	第2学年	自主、自律、自由と責任	自主的な判断と行動	裏庭でのできごと	第3学年	自主、自律、自由と責任	結果を考え判断する	言葉の向こうに
		内容項目	主題名	教材名															
	第1学年	公正、公平、社会正義	差別や偏見のない社会	誰も知らない															
	第2学年	自主、自律、自由と責任	自主的な判断と行動	裏庭でのできごと															
	第3学年	自主、自律、自由と責任	結果を考え判断する	言葉の向こうに															
<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに, 色別の4つの視点のマーク及び内容項目と教材名の間に, 主題名を示している。 																			

教出	<p>【主題名の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主題名は示していないが、教材ごとに、4つの視点を表す色別の枠内に教材番号を示している。 ・ 教材名の下に「問いかけ」を掲載している。 <p>【具体例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>問いかけ</th> <th>教材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>あなたが生まれた日に、この世界では何が起こっていたのだろうか。</td> <td>あなたが うまれた ひ</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>人と上手につき合う方法ってあるのだろうか。どうすればうまくつき合うことができるのだろうか。</td> <td>まるごと好きです</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>自分の役割をきちんと果たしてよかったなと思った経験はあるだろうか。</td> <td>父のひと言</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 主題名は示していないが、教材ごとに、4つの視点を表す色別の枠内に教材番号を示している。また、教材名の下に「問いかけ」を掲載している。</p>		問いかけ	教材名	第1学年	あなたが生まれた日に、この世界では何が起こっていたのだろうか。	あなたが うまれた ひ	第2学年	人と上手につき合う方法ってあるのだろうか。どうすればうまくつき合うことができるのだろうか。	まるごと好きです	第3学年	自分の役割をきちんと果たしてよかったなと思った経験はあるだろうか。	父のひと言
		問いかけ	教材名										
	第1学年	あなたが生まれた日に、この世界では何が起こっていたのだろうか。	あなたが うまれた ひ										
	第2学年	人と上手につき合う方法ってあるのだろうか。どうすればうまくつき合うことができるのだろうか。	まるごと好きです										
第3学年	自分の役割をきちんと果たしてよかったなと思った経験はあるだろうか。	父のひと言											
光村	<p>【主題名の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主題名は示していないが、教材ごとに、教材の右横に、4つの視点を表すマークと内容項等を掲載している。 <p>【具体例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容項目等</th> <th>教材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>自主、自律、自由と責任</td> <td>自分で決めるって？</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>学校生活、集団生活の充実</td> <td>テニス部の危機</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>希望と勇気、強い意志</td> <td>メダルの向こう側に</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 主題名は示していないが、教材ごとに、教材の右横に、4つの視点を表すマークと内容項目等を掲載している。</p>		内容項目等	教材名	第1学年	自主、自律、自由と責任	自分で決めるって？	第2学年	学校生活、集団生活の充実	テニス部の危機	第3学年	希望と勇気、強い意志	メダルの向こう側に
		内容項目等	教材名										
	第1学年	自主、自律、自由と責任	自分で決めるって？										
	第2学年	学校生活、集団生活の充実	テニス部の危機										
第3学年	希望と勇気、強い意志	メダルの向こう側に											
日文	<p>【主題名の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材ごとに、教材名の上の色別の4つの視点の枠内に、4つの視点を表すマークと共に、主題名を示している。 <p>【具体例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>主題名</th> <th>教材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>困難を乗り越える力</td> <td>サッカーの漫画を描きたい</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>自分の弱さの克服</td> <td>自分の弱さと戦え</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>より高い目標をめざして</td> <td>銀メダルから得たもの</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 教材ごとに、教材名の上の色別の4つの視点の枠内に、4つの視点を表すマークと共に、主題名を示している。</p>		主題名	教材名	第1学年	困難を乗り越える力	サッカーの漫画を描きたい	第2学年	自分の弱さの克服	自分の弱さと戦え	第3学年	より高い目標をめざして	銀メダルから得たもの
		主題名	教材名										
	第1学年	困難を乗り越える力	サッカーの漫画を描きたい										
	第2学年	自分の弱さの克服	自分の弱さと戦え										
第3学年	より高い目標をめざして	銀メダルから得たもの											

学研	<p>【主題名の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主題名は示していないが、教材ごとに、教材番号と教材名の間に、4つの視点を表す色別のラインを示している。 <p>【具体例】</p> <table border="1" data-bbox="359 369 1045 533"> <thead> <tr> <th></th> <th>教材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>掃除の神様が教えてくれたこと</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>三十点の金メダル</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 主題名は示していないが、教材ごとに、教材番号と教材名の間に、4つの視点を表す色別のラインを示している。</p>		教材名	第1学年	掃除の神様が教えてくれたこと	第2学年	鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅	第3学年	三十点の金メダル
	教材名								
第1学年	掃除の神様が教えてくれたこと								
第2学年	鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅								
第3学年	三十点の金メダル								
廣あかつき	<p>【主題名の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主題名は示していないが、教材ごとに、教材名の上に、4つの視点を表す色別の教材番号、また、教材名の下に4つの視点を表す色別のマークを示している。 <p>【具体例】</p> <table border="1" data-bbox="359 851 1005 1014"> <thead> <tr> <th></th> <th>教材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>この人生の主人公</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>虎</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>リクエスト</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 主題名は示していないが、教材ごとに、教材名の上に、4つの視点を表す色別の教材番号、また、教材名の下に4つの視点を表す色別のマークを示している。</p>		教材名	第1学年	この人生の主人公	第2学年	虎	第3学年	リクエスト
	教材名								
第1学年	この人生の主人公								
第2学年	虎								
第3学年	リクエスト								
日科	<p>【主題名の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主題名は示していないが、教材ごとに、教材名の上に、4つの視点を表す色別の枠内に内容項目の番号を示している。 <p>【具体例】</p> <table border="1" data-bbox="359 1332 1005 1496"> <thead> <tr> <th></th> <th>教材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>銀色のシャープペンシル</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>十四歳の責任</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>スイッチ</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 主題名は示していないが、教材ごとに、教材名の上に、4つの視点を表す色別の枠内に内容項目の番号を示している。</p>		教材名	第1学年	銀色のシャープペンシル	第2学年	十四歳の責任	第3学年	スイッチ
	教材名								
第1学年	銀色のシャープペンシル								
第2学年	十四歳の責任								
第3学年	スイッチ								

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③発問の工夫
方 法	○発問の記載箇所, 数, 記載例

発行者	調査・研究内容								
東書	<p>【発問の記載箇所, 数, 記載例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問の記載箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材の終わり (考えてみよう!)</td> <td>2～3</td> </tr> <tr> <td>いじめ問題対応ユニット, 生命尊重ユニット</td> <td>3～7</td> </tr> <tr> <td>ACT I O N !</td> <td>7～8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【記載例】(教材名:二通の手紙 [第3学年]) 「考えてみよう!」</p> <p>① 元さんがはればれとした顔で職場を去ることができたのは、なぜだろう。 ② 社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは、なぜだろう。</p> <p>・ 全ての教材の終わりの「考えてみよう!」のコーナーに、マークと共に発問を2～3個記載している。また、「いじめ問題対応ユニット」「生命尊重ユニット」「ACT I O N !」に、発問を3～8個記載している。</p>	発問の記載箇所	数	教材の終わり (考えてみよう!)	2～3	いじめ問題対応ユニット, 生命尊重ユニット	3～7	ACT I O N !	7～8
	発問の記載箇所	数							
教材の終わり (考えてみよう!)	2～3								
いじめ問題対応ユニット, 生命尊重ユニット	3～7								
ACT I O N !	7～8								
学図	<p>【発問の記載箇所, 数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発問の記載箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材の終わり (学びに向かうために)</td> <td>3～4</td> </tr> <tr> <td>教材の終わり (心の扉)</td> <td>1～4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【記載例】(教材名:二通の手紙 [第2学年]) 「学びに向かうために」</p> <p>《考えよう》 なぜ元さんは、規則を知っていながら姉弟を園内に入れたのだろうか。 《考えよう 意見交換》 二通の手紙を見比べながら、「新たな出発ができそうだ。」と言った元さんは、どんなことを考えていたのだろうか。話し合ってみよう。 《見つめよう》 きまりは何のためにあるのだろうか。考えたことをノートなどに書いてみよう。</p> <p>・ 全ての教材の終わりの「学びに向かうために」のコーナーに、発問を3～4個記載している。また、教材の終わりの「心の扉」に、発問を1～4個記載している教材もある。</p>	発問の記載箇所	数	教材の終わり (学びに向かうために)	3～4	教材の終わり (心の扉)	1～4		
発問の記載箇所	数								
教材の終わり (学びに向かうために)	3～4								
教材の終わり (心の扉)	1～4								

教出	【発問の記載箇所，数】								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発問の記載箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材の終わり（学びの道しるべ）</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>教材の終わり（やってみよう）</td> <td>2～5</td> </tr> <tr> <td>教材の途中〔第1学年のみ〕</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	発問の記載箇所	数	教材の終わり（学びの道しるべ）	3	教材の終わり（やってみよう）	2～5	教材の途中〔第1学年のみ〕	3
	発問の記載箇所	数							
	教材の終わり（学びの道しるべ）	3							
教材の終わり（やってみよう）	2～5								
教材の途中〔第1学年のみ〕	3								
<p>【記載例】（教材名：二通の手紙〔第3学年〕） 「学びの道しるべ」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 元さんがはればれとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはなぜだろう。 2 姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたは思うだろうか。 3 きまりや法は、なんのためにあるのだろう。 									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての教材の終わりの「学びの道しるべ」のコーナーに、4つの視点を表すマークと共に、発問を3個ずつ記載している。また、教材の終わりの「やってみよう」に、発問を2～5個記載している教材や、第1学年のみ教材の途中で発問を記載した教材がある。 									
光村	【発問の記載箇所，数】								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発問の記載箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材の終わり又は途中（学びのテーマ）</td> <td>2～7</td> </tr> <tr> <td>「確かめよう」〔第1・2学年〕</td> <td>2～3</td> </tr> <tr> <td>コラム</td> <td>1～4</td> </tr> </tbody> </table>	発問の記載箇所	数	教材の終わり又は途中（学びのテーマ）	2～7	「確かめよう」〔第1・2学年〕	2～3	コラム	1～4
	発問の記載箇所	数							
	教材の終わり又は途中（学びのテーマ）	2～7							
「確かめよう」〔第1・2学年〕	2～3								
コラム	1～4								
<p>【記載例】（教材名：二通の手紙〔第3学年〕）</p> <p>《考える観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元さんは、規則を知っていながら、どうして姉弟を動物園の中に入れたのだろう。 ・ 元さんが「この年になって初めて考えさせられ」たのは、どんなことだったのだろう。 ・ 規則は、何のためにあるのだろう。 <p>《見方を変えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 懲戒処分を受け、晴れ晴れとした顔で辞職した元さんを見て、佐々木は、どんなことを思っただろう。 <p>《つなげよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたが法やきまりを守るのはどうしてか、考えてみよう。 ・ 社会参画のコラム「社会の一員として」を読んでもみよう。 									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての教材の終わり又は途中の「学びのテーマ」のページに、「考える観点」「見方を変えて」「つなげよう」として、発問を2～7個記載している。また、第1・2学年では「確かめよう」のページに、発問を2～3個記載している。さらに、各学年のコラムにおいて、発問を1～4個記載している。 									

	【発問の記載箇所，数】									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発問の記載箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材の終わり（考えてみよう，自分に＋１）及び別冊「道徳ノート」</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>教材の終わり（学習の進め方）及び別冊「道徳ノート」</td> <td>3～5</td> </tr> </tbody> </table>	発問の記載箇所	数	教材の終わり（考えてみよう，自分に＋１）及び別冊「道徳ノート」	2	教材の終わり（学習の進め方）及び別冊「道徳ノート」	3～5			
発問の記載箇所	数									
教材の終わり（考えてみよう，自分に＋１）及び別冊「道徳ノート」	2									
教材の終わり（学習の進め方）及び別冊「道徳ノート」	3～5									
日文	<p>【記載例】（教材名：二通の手紙〔第3学年〕） 「学習の進め方」</p> <p>＜① 問題をつかもう。＞ 「二通の手紙」を読んで、何が問題だと考えるかまとめよう。</p> <p>＜② 自分で考えてみよう。＞ 元さんは、二通の手紙を読んだとき、それぞれ、どんなことを考えたのだろう。</p> <p>＜③ 問題について考え、議論しよう。＞ 元さんが、初めて考えさせられたこととは何か考え、話し合おう。 次のことも話し合ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法やきまりは、なんのためにあるのか。 ・ 法やきまりがなかったら、どうなるのか。 <p>「自分に＋１」 法やきまりについて、どのように考えていきたいかまとめてみよう。</p>									
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>・ 全ての教材の終わりの「考えてみよう」や「自分に＋１」のコーナーに、発問を1個ずつ記載している。また、「学習の進め方」のページには、発問を3～5個記載している。なお、別冊の道徳ノートに同じ発問を記載している。</td> </tr> </tbody> </table>	・ 全ての教材の終わりの「考えてみよう」や「自分に＋１」のコーナーに、発問を1個ずつ記載している。また、「学習の進め方」のページには、発問を3～5個記載している。なお、別冊の道徳ノートに同じ発問を記載している。								
・ 全ての教材の終わりの「考えてみよう」や「自分に＋１」のコーナーに、発問を1個ずつ記載している。また、「学習の進め方」のページには、発問を3～5個記載している。なお、別冊の道徳ノートに同じ発問を記載している。										
	【発問の記載箇所，数】									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発問の記載箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材の終わり</td> <td>1～2</td> </tr> <tr> <td>教材の終わり（深めよう）</td> <td>3～4</td> </tr> <tr> <td>教材の終わり（クローズアップ）</td> <td>1～4</td> </tr> <tr> <td>教材の途中</td> <td>1～2</td> </tr> </tbody> </table>	発問の記載箇所	数	教材の終わり	1～2	教材の終わり（深めよう）	3～4	教材の終わり（クローズアップ）	1～4	教材の途中
発問の記載箇所	数									
教材の終わり	1～2									
教材の終わり（深めよう）	3～4									
教材の終わり（クローズアップ）	1～4									
教材の途中	1～2									
学研	<p>【記載例】（教材名：二通の手紙〔第3学年〕）</p> <p>① 二通の手紙を前に、元さんが考えさせられたこととはどのようなことだろう。</p> <p>② この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか。</p>									
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>・ 教材の終わりに、4つの視点を色で表したマークと共に発問を1～2個記載しており、教材の終わりに発問を記載していない教材は、「深めよう」に発問を3～4個記載している。教材の終わりの「クローズアップ」に発問を1～4個記載している教材や、教材の途中に発問を1～2個記載している教材もある。</td> </tr> </tbody> </table>	・ 教材の終わりに、4つの視点を色で表したマークと共に発問を1～2個記載しており、教材の終わりに発問を記載していない教材は、「深めよう」に発問を3～4個記載している。教材の終わりの「クローズアップ」に発問を1～4個記載している教材や、教材の途中に発問を1～2個記載している教材もある。								
・ 教材の終わりに、4つの視点を色で表したマークと共に発問を1～2個記載しており、教材の終わりに発問を記載していない教材は、「深めよう」に発問を3～4個記載している。教材の終わりの「クローズアップ」に発問を1～4個記載している教材や、教材の途中に発問を1～2個記載している教材もある。										

廣あか つき	【発問の記載箇所，数】								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発問の記載箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材の終わり（考える・話し合う）</td> <td>3～5</td> </tr> <tr> <td>中学生の道徳ノート（内容項目ごとのページ）</td> <td>2～3</td> </tr> </tbody> </table>	発問の記載箇所	数	教材の終わり（考える・話し合う）	3～5	中学生の道徳ノート（内容項目ごとのページ）	2～3		
	発問の記載箇所	数							
	教材の終わり（考える・話し合う）	3～5							
中学生の道徳ノート（内容項目ごとのページ）	2～3								
<p>【記載例】（教材名：元さんと二通の手紙〔第3学年〕） 「考える・話し合う」 《学習の手がかり》</p> <ul style="list-style-type: none"> 元さんはどう思って、姉弟を特別に入園させたのか。 二通の手紙を見比べて元さんが考えたことはなんだろう。 元さんはどうして晴れ晴れとした顔で身の回りの片づけをし、職場を去っていったのだろう。 <p>《考えを広げる・深める》</p> <ul style="list-style-type: none"> 規則に問題があったのか、それとも元さんの思いやりに問題があったのか、考えてみよう。 									
<p>・ 全ての教材の終わりに、4つの視点を色で表した枠の中の「考える・話し合う」のコーナーに発問を3～5個記載している。また、道徳ノートでは、内容項目ごとのページに発問を2～3個記載している。</p>									
日科	【発問の記載箇所，数】								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発問の記載箇所</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材の終わり（考え、話し合ってみよう　そして、深めよう）</td> <td>1～3</td> </tr> <tr> <td>教材の終わり（「書いてみよう」「話してみよう」「考えてみよう」「もっと知りたい」）</td> <td>1～4</td> </tr> <tr> <td>教材の途中〔第1・3学年〕</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	発問の記載箇所	数	教材の終わり（考え、話し合ってみよう　そして、深めよう）	1～3	教材の終わり（「書いてみよう」「話してみよう」「考えてみよう」「もっと知りたい」）	1～4	教材の途中〔第1・3学年〕	1
	発問の記載箇所	数							
	教材の終わり（考え、話し合ってみよう　そして、深めよう）	1～3							
教材の終わり（「書いてみよう」「話してみよう」「考えてみよう」「もっと知りたい」）	1～4								
教材の途中〔第1・3学年〕	1								
<p>【記載例】（教材名：二通の手紙〔第2学年〕） 「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 二人の姉弟を入園させた元さんをどう思いますか。 この年になって初めて考えさせられることとは、どんなことだったでしょうか。 元さんが晴れ晴れとした顔で身の回りを片付け、自ら職を辞し、職場を去って行ったのはどうしてでしょう。 									
<p>・ 全ての教材の終わりの「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」のコーナーに、4つの視点を色で表したマークと共に、発問を1～3個記載している。また、教材の終わりの「書いてみよう」等に、発問を1～4個記載したページや、第1・3学年のみ、教材の途中に発問を記載したページがある。</p>									

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④問題解決的な学習を取り入れた工夫
方 法	○問題解決的な学習の扱い，教材名，内容項目，問題意識の持たせ方，発問の具体例

発行者	調査・研究内容	
東書	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう，全ての教材の終わりに「考えてみよう！」のコーナーを設け，発問を示している。特に2時間扱いの教材では，問題の発見から話し合いまでの学習の流れを明示したページを設けている。 <p>【教材名，内容項目，問題意識の持たせ方，発問の具体例】</p> <p>※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>	
	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例
	<p>○ 教材名：全てがリオでかみ合った（A4 希望と勇気，克己と強い意志）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行錯誤しながら結果を出した陸上選手の姿から，目標を達成するために必要なことについて考えさせている。 	<p>○ 「考えてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 腰痛や自分の走りになやんでいた山縣選手を支えていたのは，どのような思いだろうか。 目標を達成していくためには，どのようなことが必要なのだろうか。 <p>（p 13）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう，全ての教材の終わりに「考えてみよう！」のコーナーを設け，発問を示している。特に2時間扱いの教材では，問題の発見から話し合いまでの学習の流れを明示したページを設けている。 	

学図	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、全ての教材の終わりに「学びに向かうために」のコーナーを設け、発問を示している。 <p>【教材名、内容項目、問題意識の持たせ方、発問の具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>	
	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例
	<p>○ 教材名：キャッチボール (C10 遵法精神, 公德心)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分と同じ行動をとる人物に迷惑を被る登場人物の姿から、きまりの意義について考えさせている。 	<p>○ 「学びに向かうために」</p> <ul style="list-style-type: none"> 監督からの指示に従うために、明夫たちが取った行動やその判断のどこに問題があったと思うか。 他にどのような方法や判断の仕方があったと思うか。理由も含めて話し合おう。 痛みがぐっと増してくるのを感じていた明夫はどんなことを考えていただろうか。 ルールやきまりとは何か、ノートなどにまとめてみよう。 <p>(p 47)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、全ての教材の終わりに「学びに向かうために」のコーナーを設け、発問を示している。 		

教出	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、全ての教材の冒頭に「導入」として問い示し、全ての教材の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けて発問を示している。 <p>【教材名、内容項目、問題意識の持たせ方、発問の具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>	
	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例
	<p>○ 教材名：ルールとマナー （C10 遵法精神，公德心）</p> <ul style="list-style-type: none"> 冒頭に、ルールやマナーが必要なのはなぜか考えさせている。 「学びの道しるべ」に、登場人物の投稿の問題点に気づかせ、ルールやマナーが必要なのはなぜか考えさせている。 	<p>○ 「導入」</p> <ul style="list-style-type: none"> なにげない日常のやりとりの中にもルールやマナーが必要なものは、どうしてだろう。 （p 8 2） <p>○ 「学びの道しるべ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 三人の投稿の何が問題だったのか、気がついたことを出し合おう。 ルールとマナーの違いについて、もう一度考えてみよう。 ルールとマナーは、私たちの生活になぜ必要なのだろう。私たちはどのようなことを意識して生活したらよいのだろう。 （p 8 5）
<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、全ての教材の冒頭に「導入」として問い示し、全ての教材の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けて発問を示している。 		

光村	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、全ての教材の冒頭又は終わりに「学びのテーマ」のページを設け、発問を示している。 <p>【教材名、内容項目、問題意識の持たせ方、発問の具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>			
	<table border="1" data-bbox="368 409 1374 1357"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 409 871 483">教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方</th> <th data-bbox="871 409 1374 483">発問の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 483 871 1357"> <p>○ 教材名：自然教室での出来事（A2 節度，節制）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びのテーマ」のタイトルの下に、問いを示している。 山を登り切れない登場人物の姿から、よりよい生活に向けて必要なことについて考えさせている。 </td> <td data-bbox="871 483 1374 1357"> <p>○ 教材名：自然教室での出来事</p> <p>《学びのテーマ》</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい生活を送るために大切なことは、何だろう。 <p>《考える観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 寝ている正典を起こしたとき、公一は、どんな気持ちだったのだろう。 英二たちが手に入れ、公一や正典が手に入れられなかったものは、何だろう。 これからどのような生活を送っていきたいか、自分の目ざす1日のタイムスケジュールを考え、下の円に書き込もう。 <p>《見方を変えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> 英二は、公一や正典の様子を見て、どう思っただろう。 <p>《つなげよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級活動での個人目標づくりと、つなげて考えてみよう。 これから学ぶ保健体育で、今日の学びを思い出そう。 <p>(p 16)</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 問題解決的な学習ができるよう、全ての教材の冒頭又は終わりに「学びのテーマ」のページを設け、発問を示している。</p>	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例	<p>○ 教材名：自然教室での出来事（A2 節度，節制）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びのテーマ」のタイトルの下に、問いを示している。 山を登り切れない登場人物の姿から、よりよい生活に向けて必要なことについて考えさせている。
教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例			
<p>○ 教材名：自然教室での出来事（A2 節度，節制）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びのテーマ」のタイトルの下に、問いを示している。 山を登り切れない登場人物の姿から、よりよい生活に向けて必要なことについて考えさせている。 	<p>○ 教材名：自然教室での出来事</p> <p>《学びのテーマ》</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい生活を送るために大切なことは、何だろう。 <p>《考える観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 寝ている正典を起こしたとき、公一は、どんな気持ちだったのだろう。 英二たちが手に入れ、公一や正典が手に入れられなかったものは、何だろう。 これからどのような生活を送っていきたいか、自分の目ざす1日のタイムスケジュールを考え、下の円に書き込もう。 <p>《見方を変えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> 英二は、公一や正典の様子を見て、どう思っただろう。 <p>《つなげよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級活動での個人目標づくりと、つなげて考えてみよう。 これから学ぶ保健体育で、今日の学びを思い出そう。 <p>(p 16)</p>			
日文	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習に適した教材には、目次や該当ページ及び巻末にマークを付けて示し、教材の終わりに、問題を解決するための「学習の進め方」のページを設け、発問を示している。 <p>【教材名、内容項目、問題意識の持たせ方、発問の具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>			
	<table border="1" data-bbox="368 1758 1374 2011"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 1758 871 1832">教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方</th> <th data-bbox="871 1758 1374 1832">発問の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 1832 871 2011"> <p>○ 教材名：あったほうがいい？（C12 社会参画，公共の精神）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びの進め方」のタイトルの下に、問いを示している。 街にゴミ箱は置かないほうがい </td> <td data-bbox="871 1832 1374 2011"> <p>○ 「学びの進め方」</p> <p>《問題をつかもう。》</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ箱がないことで起こる問題は？ ゴミ箱があることで起こる問題 </td> </tr> </tbody> </table>	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例	<p>○ 教材名：あったほうがいい？（C12 社会参画，公共の精神）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びの進め方」のタイトルの下に、問いを示している。 街にゴミ箱は置かないほうがい
教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例			
<p>○ 教材名：あったほうがいい？（C12 社会参画，公共の精神）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びの進め方」のタイトルの下に、問いを示している。 街にゴミ箱は置かないほうがい 	<p>○ 「学びの進め方」</p> <p>《問題をつかもう。》</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ箱がないことで起こる問題は？ ゴミ箱があることで起こる問題 			

	<p>いのだろうかと悩む主人公の姿から、よりよい社会のために大切なことについて考えさせている。</p>	<p>は？</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰もが街をきれいにしたいと思っているはずなのに、ゴミ問題が起こるのはなぜ？ <p>《自分で考えてみよう。》</p> <ul style="list-style-type: none"> 街にゴミ箱を設置したほうがよいか、しないほうがよいか、考えてみよう。 <p>《問題について考え、議論しよう。》</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ問題を解決するためにどうしたらよいか、どんな考え方が大切か話し合おう。 <p>(p 60)</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習に適した教材には、目次や該当ページ及び巻末にマークを付けて示し、教材の終わりに、問題を解決するための「学習の進め方」のページを設け、発問を示している。 					
学研	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、特設ページとして「深めよう」のページを設け、発問を示している。 <p>【教材名、内容項目、問題意識の持たせ方、発問の具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p> <table border="1" data-bbox="368 1025 1372 1794"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 1025 869 1104">教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方</th> <th data-bbox="869 1025 1372 1104">発問の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 1104 869 1794"> <p>○ 教材名：うわさで決めるの？ (C11 公正, 公平, 社会正義)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの会話の問題点に関してグループで話し合い、いじめについて考えさせている。 </td> <td data-bbox="869 1104 1372 1794"> <p>○ 「深めよう SNSでのいじめについて考える」</p> <p>《考えを整理しよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの会話には、どんな問題点があるか考えてみよう。 <p>《話し合おう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 私がBさんともっと親しくなりたいと思うようになったのは、なぜだろう。 <p>《振り返ろう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いから、新たに気付いたことを書こう。 <p>《踏み出そう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に対して偏見をもたないようにするために、気をつけることについて考え、実践しよう。その内容について、グループで話し合ってみよう。 <p>(p 27)</p> </td> </tr> </tbody> </table>		教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例	<p>○ 教材名：うわさで決めるの？ (C11 公正, 公平, 社会正義)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの会話の問題点に関してグループで話し合い、いじめについて考えさせている。 	<p>○ 「深めよう SNSでのいじめについて考える」</p> <p>《考えを整理しよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの会話には、どんな問題点があるか考えてみよう。 <p>《話し合おう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 私がBさんともっと親しくなりたいと思うようになったのは、なぜだろう。 <p>《振り返ろう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いから、新たに気付いたことを書こう。 <p>《踏み出そう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に対して偏見をもたないようにするために、気をつけることについて考え、実践しよう。その内容について、グループで話し合ってみよう。 <p>(p 27)</p>
教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例					
<p>○ 教材名：うわさで決めるの？ (C11 公正, 公平, 社会正義)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの会話の問題点に関してグループで話し合い、いじめについて考えさせている。 	<p>○ 「深めよう SNSでのいじめについて考える」</p> <p>《考えを整理しよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの会話には、どんな問題点があるか考えてみよう。 <p>《話し合おう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 私がBさんともっと親しくなりたいと思うようになったのは、なぜだろう。 <p>《振り返ろう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いから、新たに気付いたことを書こう。 <p>《踏み出そう》</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に対して偏見をもたないようにするために、気をつけることについて考え、実践しよう。その内容について、グループで話し合ってみよう。 <p>(p 27)</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、特設ページとして「深めよう」のページを設け、発問を示している。 					

廣あか つき	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設け、学習のめあてや発問を示している。 <p>【教材名，内容項目，問題意識の持たせ方，発問の具体例】</p> <p>※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方</th> <th style="text-align: center;">発問の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>○ 教材名：裏庭のできごと (A 1 自主，自律，自由と責任)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習の手がかり」に，学習の目当てを示している。 本当のことを言えずに悩む登場人物の姿から，責任を取ることに ついて考えさせている。 </td> <td> <p>○ 「考える・話し合う」 《学習の手がかり》</p> <ul style="list-style-type: none"> 雄一と大輔という二人のことを 考えて悩んだ末に健二がとった行 動から，健二の決断を支えていた ものについて考える。 健二はどんなことを考え，悩んで いたのだろう。 職員室に向かう健二はどんなこ とを考えていたのだろう。 告白することを決断した健二の 心を支えている考え方とは，どん なものだろう。 <p>《考えを広げる・深める》</p> <ul style="list-style-type: none"> 健二のあとを追いかけて，職員室に 向かった大輔は，どんなことを考 えていたのだろう。 <p style="text-align: right;">(p 1 4)</p> </td> </tr> </tbody> </table>	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例	<p>○ 教材名：裏庭のできごと (A 1 自主，自律，自由と責任)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習の手がかり」に，学習の目当てを示している。 本当のことを言えずに悩む登場人物の姿から，責任を取ることに ついて考えさせている。 	<p>○ 「考える・話し合う」 《学習の手がかり》</p> <ul style="list-style-type: none"> 雄一と大輔という二人のことを 考えて悩んだ末に健二がとった行 動から，健二の決断を支えていた ものについて考える。 健二はどんなことを考え，悩んで いたのだろう。 職員室に向かう健二はどんなこ とを考えていたのだろう。 告白することを決断した健二の 心を支えている考え方とは，どん なものだろう。 <p>《考えを広げる・深める》</p> <ul style="list-style-type: none"> 健二のあとを追いかけて，職員室に 向かった大輔は，どんなことを考 えていたのだろう。 <p style="text-align: right;">(p 1 4)</p>
	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例			
<p>○ 教材名：裏庭のできごと (A 1 自主，自律，自由と責任)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習の手がかり」に，学習の目当てを示している。 本当のことを言えずに悩む登場人物の姿から，責任を取ることに ついて考えさせている。 	<p>○ 「考える・話し合う」 《学習の手がかり》</p> <ul style="list-style-type: none"> 雄一と大輔という二人のことを 考えて悩んだ末に健二がとった行 動から，健二の決断を支えていた ものについて考える。 健二はどんなことを考え，悩んで いたのだろう。 職員室に向かう健二はどんなこ とを考えていたのだろう。 告白することを決断した健二の 心を支えている考え方とは，どん なものだろう。 <p>《考えを広げる・深める》</p> <ul style="list-style-type: none"> 健二のあとを追いかけて，職員室に 向かった大輔は，どんなことを考 えていたのだろう。 <p style="text-align: right;">(p 1 4)</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう，教材の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設け，学習のめあてや発問を示している。 					
日科	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう，教材の終わりに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーを設け，発問を示している。 <p>【教材名，内容項目，問題意識の持たせ方，発問の具体例】</p> <p>※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方</th> <th style="text-align: center;">発問の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>○ 教材名：プロレスごっこ (C 1 2 公正，公平，社会正義)</p> <ul style="list-style-type: none"> 休み時間にプロレスごっこが繰 り返される学級の状況から，いじ めについて考えさせている。 </td> <td> <p>○ 「考え、話し合ってみよう そし て、深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> どのような“いじめ”が隠れてい ますか。 この状況を改善するためには，ど のような方法が考えられますか。 話し合ってみましょう。 <p style="text-align: right;">(p 1 0 7)</p> </td> </tr> </tbody> </table>	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例	<p>○ 教材名：プロレスごっこ (C 1 2 公正，公平，社会正義)</p> <ul style="list-style-type: none"> 休み時間にプロレスごっこが繰 り返される学級の状況から，いじ めについて考えさせている。 	<p>○ 「考え、話し合ってみよう そし て、深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> どのような“いじめ”が隠れてい ますか。 この状況を改善するためには，ど のような方法が考えられますか。 話し合ってみましょう。 <p style="text-align: right;">(p 1 0 7)</p>
	教材名（内容項目） 問題意識の持たせ方	発問の具体例			
<p>○ 教材名：プロレスごっこ (C 1 2 公正，公平，社会正義)</p> <ul style="list-style-type: none"> 休み時間にプロレスごっこが繰 り返される学級の状況から，いじ めについて考えさせている。 	<p>○ 「考え、話し合ってみよう そし て、深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> どのような“いじめ”が隠れてい ますか。 この状況を改善するためには，ど のような方法が考えられますか。 話し合ってみましょう。 <p style="text-align: right;">(p 1 0 7)</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう，教材の終わりに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーを設け，発問を示している。 					

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤体験的な学習を取り入れた工夫
方 法	○体験的な学習の扱い，教材名等，内容項目，体験的な学習活動の概要，体験的な活動を促す具体例

発行者	調査・研究内容	
東書	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を促す教材の後に，役割演技や体験学習を通して議論する教材である「ACTION！」を設定し，目次及び該当ページにマークを付けて示している。 <p>【教材名等，内容項目，体験的な学習活動の概要，体験的な活動を促す具体例】</p> <p>※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>	
	<p>教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要</p>	<p>体験的な活動を促す具体例</p>
	<p>○ 教材名：くじ引きの後の場面をやってみよう (C11 公正，公平，社会正義)</p> <ul style="list-style-type: none"> くじ引きの後，クラスのかかりの人が勝手に席を決め直したときの気持ちを，演じて考える活動。 	<p>○ 教材名：くじ引きの後の場面をやってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 4人一組になって，「私」役，「並んで座りたかった二人」役1，2，「しかたなく席をゆずった人」役と，役割を決めましょう。 「並んで座りたかった二人」1が，「しかたなく席をゆずった人」に対して，「席をかわってくれない？」というせりふからスタートし，役を交替しながら，全員が全ての役を演じましょう。 それぞれの役を演じてみて，気付いたこと，感じたことを書きましよう。 (p94)
	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を促す教材の後に，役割演技や体験学習を通して議論する教材である「ACTION！」を設定し，目次及び該当ページにマークを付けて示している。 	
学図	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「学びに向かうために」のコーナーに，体験的な学習を促す質問を示している。 <p>【教材名等，内容項目，体験的な学習活動の概要，体験的な活動を促す具体例】</p> <p>※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>	
	<p>教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要</p>	<p>体験的な活動を促す具体例</p>
	<p>○ 教材名：銀色のシャープペンシル (D22 よりよく生きる喜び)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公の心の様子を，善の声と悪の声の役割に分かれて，演じて考える活動。 	<p>○ 「学びに向かうために」</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓也からの電話の後の「僕」の心の様子を，善の声と悪の声の役割に分かれてささやき合せて，感じてみよう。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思い切り深呼吸をし、卓也の家に向かって歩き出した「僕」は、どんなことを考えていたか。考えたことを出し合ってみよう。 ・ 卓也の家に向かって歩き出した「僕」に、どんな言葉をかけたいか。ノートなどに書いてみよう。 (p 195) 					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の終わりの「学びに向かうために」のコーナーに、体験的な学習を促す発問を示している。 					
教出	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直前の教材と関連させながら、実際に場面を演じたり、よりよい行いの練習をしたりして、教材での学びを深めるページ「やってみよう」を設定し、目次及び該当ページにマークを付けて示している。 <p>【教材名等、内容項目、体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="363 882 874 958">教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要</th> <th data-bbox="874 882 1394 958">体験的な活動を促す具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="363 958 874 1361"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：不自然な独り言 (B 6 思いやり, 感謝) ・ バスターミナルで、困った様子で周りを見回しているお年寄りに声をかける場面を、ペアで演じて考える活動。 </td> <td data-bbox="874 958 1394 1361"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」 ・ ペアになって、次の場面を演じてみましょう。 バスターミナルで、お年寄りが困った様子で周りを見回しています。さあ、勇気を出して声をかけてみましょう。お年寄り役の人は、困っている理由も教えてください。演じたあとに、感想を書きましょう。 (p 27) </td> </tr> </tbody> </table>	教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：不自然な独り言 (B 6 思いやり, 感謝) ・ バスターミナルで、困った様子で周りを見回しているお年寄りに声をかける場面を、ペアで演じて考える活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」 ・ ペアになって、次の場面を演じてみましょう。 バスターミナルで、お年寄りが困った様子で周りを見回しています。さあ、勇気を出して声をかけてみましょう。お年寄り役の人は、困っている理由も教えてください。演じたあとに、感想を書きましょう。 (p 27) 	
	教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：不自然な独り言 (B 6 思いやり, 感謝) ・ バスターミナルで、困った様子で周りを見回しているお年寄りに声をかける場面を、ペアで演じて考える活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」 ・ ペアになって、次の場面を演じてみましょう。 バスターミナルで、お年寄りが困った様子で周りを見回しています。さあ、勇気を出して声をかけてみましょう。お年寄り役の人は、困っている理由も教えてください。演じたあとに、感想を書きましょう。 (p 27) 					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験的な学習を促す教材の後に、実際に場面を演じたり、よりよい行いの練習をしたりして、教材での学びを深めるページ「やってみよう」を設定し、目次及び該当ページにマークを付けて示している。 						
光村	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直前の教材と関連させながら、イラストと共に発問を掲載して、体験的な学習を促すコラム「人と人との関係づくり」を設けると共に、目次にも示している。 <p>【教材名等、内容項目、体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="363 1740 874 1816">教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要</th> <th data-bbox="874 1740 1394 1816">体験的な活動を促す具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="363 1816 874 2031"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：いちばん高い値段の絵 (B 8 友情, 信頼) ・ 2回続けて早朝練習に遅刻してきた人たちへの言葉がけや接し方を演じて考える活動。 </td> <td data-bbox="874 1816 1394 2031"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「コラム 友達とよい関係を築くには」 ・ あなたならどのように対応するだろう。下の五つのタイプの中で、あなたが共感できるのは、どのタイプだろう。 </td> </tr> </tbody> </table>	教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：いちばん高い値段の絵 (B 8 友情, 信頼) ・ 2回続けて早朝練習に遅刻してきた人たちへの言葉がけや接し方を演じて考える活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「コラム 友達とよい関係を築くには」 ・ あなたならどのように対応するだろう。下の五つのタイプの中で、あなたが共感できるのは、どのタイプだろう。 	
	教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：いちばん高い値段の絵 (B 8 友情, 信頼) ・ 2回続けて早朝練習に遅刻してきた人たちへの言葉がけや接し方を演じて考える活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「コラム 友達とよい関係を築くには」 ・ あなたならどのように対応するだろう。下の五つのタイプの中で、あなたが共感できるのは、どのタイプだろう。 					

	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻をしてきた友達もいっしょに、クラスがまとまって練習に取り組むためには、どのような言葉かけや、接し方をするといいだろう。 あなたが遅刻をしてしまったとしたら、どのような言動を心がけるとよいただろう。 <p>(p 38, 39)</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> 直前の教材と関連させながら、イラストとともに発問を掲載して、体験的な学習を促すコラム「人と人との関係づくり」を設けると共に、目次にも示している。 					
日 文	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材と関連させながら、体験的な学習を促すページ「学習の進め方」を設け、目次や該当ページ及び巻末の内容項目別教材一覧に、マークを付けて示している。 <p>【教材名等、内容項目、体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p> <table border="1" data-bbox="368 920 1372 1581"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 920 874 994">教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要</th> <th data-bbox="874 920 1372 994">体験的な活動を促す具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 994 874 1581"> ○ 教材名：近くにいた友 (B8 友情, 信頼) <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイをとおして、心から信頼できる友達について考える活動。 </td> <td data-bbox="874 994 1372 1581"> ○ 「学習の進め方 近くにいた友」 <ul style="list-style-type: none"> オサムは、家に帰って携帯電話のメールを見たとき、どんなことを考えただろう。 オサムが信也に寄ってきた場面で、ロールプレイをしよう。次のセリフのあとに、二人がなんと言うかを考えよう。 ロールプレイをした人に、インタビューをしよう。 ロールプレイを見ていた人も、感じたことを言おう。 雄一から話を聞いたオサムは、信也の家に向かう途中、どんなことを考えていただろう。 <p>(p 40, 41)</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>直前の教材と関連させながら、体験的な学習を促すページ「学習の進め方」を設け、目次や該当ページ及び巻末の内容項目別教材一覧に、マークを付けて示している。</p>		教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例	○ 教材名：近くにいた友 (B8 友情, 信頼) <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイをとおして、心から信頼できる友達について考える活動。 	○ 「学習の進め方 近くにいた友」 <ul style="list-style-type: none"> オサムは、家に帰って携帯電話のメールを見たとき、どんなことを考えただろう。 オサムが信也に寄ってきた場面で、ロールプレイをしよう。次のセリフのあとに、二人がなんと言うかを考えよう。 ロールプレイをした人に、インタビューをしよう。 ロールプレイを見ていた人も、感じたことを言おう。 雄一から話を聞いたオサムは、信也の家に向かう途中、どんなことを考えていただろう。 <p>(p 40, 41)</p>
教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例					
○ 教材名：近くにいた友 (B8 友情, 信頼) <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイをとおして、心から信頼できる友達について考える活動。 	○ 「学習の進め方 近くにいた友」 <ul style="list-style-type: none"> オサムは、家に帰って携帯電話のメールを見たとき、どんなことを考えただろう。 オサムが信也に寄ってきた場面で、ロールプレイをしよう。次のセリフのあとに、二人がなんと言うかを考えよう。 ロールプレイをした人に、インタビューをしよう。 ロールプレイを見ていた人も、感じたことを言おう。 雄一から話を聞いたオサムは、信也の家に向かう途中、どんなことを考えていただろう。 <p>(p 40, 41)</p>					

学研	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材と関連させながら、体験的な学習を促す特設ページ「深めよう」を設け、目次にも示している。 <p>【教材名等、内容項目、体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 416 874 495">教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要</th> <th data-bbox="874 416 1385 495">体験的な活動を促す具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 495 874 1003"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：釣りざおの思い出（A2 節度，節制） ・ 「欲望」と「良心」の立場に分かれて、自分の心の中の対話を演じて考える活動。 </td> <td data-bbox="874 495 1385 1003"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう 二つの心の対話を演じてみよう」 ・ 帰る時間の約束がありながら、フナ釣りに夢中になっている主人公「私」には、欲望と良心、二つの心が生じていた。この二つの心の立場にそれぞれなって、心の中での対話を再現してみよう。 ・ 話し合いから、新たに気付いたことを書こう。 ・ 心の弱さに負けないために必要なことを考え、これからの行動に生かそう。（p 37） </td> </tr> </tbody> </table>	教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：釣りざおの思い出（A2 節度，節制） ・ 「欲望」と「良心」の立場に分かれて、自分の心の中の対話を演じて考える活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう 二つの心の対話を演じてみよう」 ・ 帰る時間の約束がありながら、フナ釣りに夢中になっている主人公「私」には、欲望と良心、二つの心が生じていた。この二つの心の立場にそれぞれなって、心の中での対話を再現してみよう。 ・ 話し合いから、新たに気付いたことを書こう。 ・ 心の弱さに負けないために必要なことを考え、これからの行動に生かそう。（p 37）
教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：釣りざおの思い出（A2 節度，節制） ・ 「欲望」と「良心」の立場に分かれて、自分の心の中の対話を演じて考える活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう 二つの心の対話を演じてみよう」 ・ 帰る時間の約束がありながら、フナ釣りに夢中になっている主人公「私」には、欲望と良心、二つの心が生じていた。この二つの心の立場にそれぞれなって、心の中での対話を再現してみよう。 ・ 話し合いから、新たに気付いたことを書こう。 ・ 心の弱さに負けないために必要なことを考え、これからの行動に生かそう。（p 37） 				
廣あか つき	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」や「考えを広げる・深める」を設定し、体験的な学習を促すことにつながる活動を掲載している。 <p>【教材名等、内容項目、体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 1397 874 1476">教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要</th> <th data-bbox="874 1397 1385 1476">体験的な活動を促す具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 1476 874 2020"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：樹齢七千年の杉（D20 自然愛護）〔第2学年〕 ・ 縄文杉の胴回りと同じ長さのひもで作った輪を教室で広げることによって、縄文杉の大きさを実感する活動。 </td> <td data-bbox="874 1476 1385 2020"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考える・話し合う」 《学習の手がかり》 ・ 「山は、やっぱり歩かないと、山の魅力が薄れてしまう」のは、なぜだろう。 ・ 密林の中で、筆者が縄文杉を「飛び抜けて不思議な木だ」と感じたのはなぜだろう。 ・ 「ほうほうと、命の火を燃やして、今を生きている」とは、どういうことだろう。 ・ 縄文杉の「美しい生き方」とはどういうことだろう。 《考えを広げる・深める》 ・ 縄文杉の胴回りは十六.四メートル </td> </tr> </tbody> </table>	教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：樹齢七千年の杉（D20 自然愛護）〔第2学年〕 ・ 縄文杉の胴回りと同じ長さのひもで作った輪を教室で広げることによって、縄文杉の大きさを実感する活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考える・話し合う」 《学習の手がかり》 ・ 「山は、やっぱり歩かないと、山の魅力が薄れてしまう」のは、なぜだろう。 ・ 密林の中で、筆者が縄文杉を「飛び抜けて不思議な木だ」と感じたのはなぜだろう。 ・ 「ほうほうと、命の火を燃やして、今を生きている」とは、どういうことだろう。 ・ 縄文杉の「美しい生き方」とはどういうことだろう。 《考えを広げる・深める》 ・ 縄文杉の胴回りは十六.四メートル
教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：樹齢七千年の杉（D20 自然愛護）〔第2学年〕 ・ 縄文杉の胴回りと同じ長さのひもで作った輪を教室で広げることによって、縄文杉の大きさを実感する活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考える・話し合う」 《学習の手がかり》 ・ 「山は、やっぱり歩かないと、山の魅力が薄れてしまう」のは、なぜだろう。 ・ 密林の中で、筆者が縄文杉を「飛び抜けて不思議な木だ」と感じたのはなぜだろう。 ・ 「ほうほうと、命の火を燃やして、今を生きている」とは、どういうことだろう。 ・ 縄文杉の「美しい生き方」とはどういうことだろう。 《考えを広げる・深める》 ・ 縄文杉の胴回りは十六.四メートル 				

		<p>ルといわれる。同じ長さのひもで作った輪を教室で広げてみて、その大きさを感じ取ってみよう。 (p 16)</p>
	<p>・ 教材の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」や「考えを広げる・深める」を設定し、体験的な学習を促すことにつながる活動を掲載している。</p>	
日科	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <p>・ 体験的な学習を促すことにつながる活動を掲載している。</p>	
	<p>【教材名等，内容項目，体験的な学習活動の概要，体験的な活動を促す具体例】</p> <p>※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>	
	<p>教材名（内容項目） 体験的な学習活動の概要</p>	<p>体験的な活動を促す具体例</p>
	<p>○ 教材名：礼儀はなぜ必要なのか（B7 礼儀）〔第3学年〕</p> <p>・ 三つの場面ごとに、礼儀正しい振る舞いと無礼な振る舞いについて、具体的な場面を基に考える活動。</p>	<p>○ 教材名：礼儀はなぜ必要なのか〔第3学年〕</p> <p>・ 次の三つの場面において、“最も礼儀正しい振る舞い”と“最も無礼な振る舞い”は何でしょうか。 「初めて人に会う時」 「不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行く時」 「プレゼントを人からもらった時」 (p 56)</p>
	<p>・ 体験的な学習を促すことにつながる活動を掲載している。</p>	

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥自己の生き方につなげる工夫
方 法	○実生活に生かす教材等の扱い，具体例

発行者	調査・研究内容	
東書	【実生活に生かす教材等の扱い，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	実生活に生かす教材等の扱い	具体例
	・ 教材の冒頭に，関連して扱える教科をマークで示している。	○ 教材名：さらなる高みを目指して (p 1 0) ・ マーク：数(保)
	・ 教材で学習した内容を広げるためのコラムである「P l u s」のページを設けている。	○ 「星野富弘さんの歩み」 ・ 一九七〇年六月 入院 ・ 星野さんは，現在の生活をどう感じているのだろうか。 (p 1 3 6)
	・ 教材の終わりや巻末に「読書で広げる道徳」を設けている。 〔第1・2学年〕	○ 「山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた」 ・ iPS細胞って何？ どのような役割をもっているの？ (p 5 8)
	・ 教材の終わりの「考えてみよう！」のコーナーに，実生活につなげるための発問を示している。	○ 教材名：ふるさとのために ・ ふるさとのために自分ができることを考えてみよう。 (p 3 7)
・ 教材の終わりの「考えてみよう！」のコーナーに，実生活につなげるための発問を示している。また，教材の冒頭に，関連して扱える教科をマークで示している。また，教材で学習した内容を広げるためのコラムである「P l u s」のページ，教材の終わりや巻末に「読書で広げる道徳」を設けている。		

学図	【実生活に生かす教材等の扱い，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	実生活に生かす教材等の扱い	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「学びに向かうために」のコーナーに，「見つめよう」のマークを付け，大事なことを自分自身のこととして見つめるための発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：誰も知らない <ul style="list-style-type: none"> 差別や偏見のない社会にしてい くためには，一人一人がどのような心をもつことが大切だと思うか。書いてみよう。 <p style="text-align: center;">(p 13)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的価値を深めたり，多面的・多角的なもの の見方や考え方を促したりするページとして，教材の終わりに，「心の扉」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自覚をもって国を愛し，伝統を継承し，文化を創造する」 <ul style="list-style-type: none"> あなたが知っている日本の伝統や文化の中で，大切にしたいと思っているものはどんなことか。 <p style="text-align: center;">(p 19)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページで，「さあ，楽しい夏休み！」として，健康・安全に気づけて，充実した毎日を送るよう促すページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さあ，楽しい夏休み！」 <ul style="list-style-type: none"> 「だめなものはだめ！」という意志を強くもって行動しよう（お金・薬物などの悪い誘い，夜遅くまでの出歩き，先輩や他校の生徒などとの人間関係など）。 <p style="text-align: center;">(p 83)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりに，「見つめよう」のマークを付け，大事なことを自分のこととして見つめるための発問を示している。また，多面的・多角的なもの の見方や考え方を促したりする「心の扉」や，健康・安全に気づけて，充実した毎日を送るよう促す「さあ，楽しい夏休み！」を設けている。 		
教出	【実生活に生かす教材等の扱い，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	実生活に生かす教材等の扱い	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「学びの道しるべ」のコーナーに，自己の生き方に引きつけて考える発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：おはよう <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をするときに，あなたはどんなことを大切にしたいと思うだろうか。 <p style="text-align: center;">(p 17)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「学びの道しるべ」のコーナーに，自己の生き方に引きつけて考える発問を示している。 		

光村	<p>【実生活に生かす教材等の扱い，具体例】</p> <p>※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>	
	実生活に生かす教材等の扱い	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「てびき」のページに，授業で学んだことと他の教科や普段の生活との関わり，また，さらに考えを深めるための問いや参考になる本を示した「つなげよう」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：自分で決めるって？ ・ あなたは，クラスの在り方を自由に提案することができます。クラスで何かを決めるとき，今日の学びを思い出そう。 (p 11)
	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題など現代的な課題について，直前の教材と関連づけて活用できるコラムや，人とよりよい関係を築くためのコラムを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「友達とよい関係を築くには」 ・ 友達への対応のしかたを知っていると，どんな場面でも応用できる。次のような場面を想定して，練習してみよう。 (p 38)
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「内容項目別教材一覧」に，「他教科・領域との関わり」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：自然教室での出来事 ○ 他教科・領域との関わり：保健体育科，特別活動（学校行事）
<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「てびき」のページに，授業で学んだことと他の教科や普段の生活との関わりなどを示した「つなげよう」を設けている。また，いじめ問題など現代的な課題についてのコラムや，人とよりよい関係を築くためのコラムを設けたり，巻末の「内容項目別教材一覧」に，「他教科・領域との関わり」を設けたりしている。 		

日文	【実生活に生かす教材等の扱い，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	実生活に生かす教材等の扱い	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりに，「自分に+1」というマークを付けて，自分を客観的に振り返り，学んだことを前向きに生かすための発問例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：疾走、自転車ライダー ・ 自分の身近にある「安全」について、あらためて考えてみよう。(p 7 1)
	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を広げ，考えや視野を広げるコラムとして「プラットホーム」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「君の心を打つ言葉」 ・ 気になった作品を読んで，自分の好きな作品にお気に入りの言葉があれば，それを友達に紹介してみましょう。(p 1 2)
<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「内容項目別教材一覧」に，「教科等との関連」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：二人の約束 ○ 教科等との関連：保体，特活 	
<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりに，「自分に+1」というマークを付けて，自分を客観的に振り返り，学んだことを前向きに生かすための発問例を示している。また，学習した内容を広げ，考えや視野を広げるコラムとして「プラットホーム」を設定したり，巻末の「内容項目別教材一覧」に，「教科等との関連」を設定したりしている。 		
学研	【実生活に生かす教材等の扱い，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	実生活に生かす教材等の扱い	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりに，生き方の選択肢を増やす関連情報を示した「クローズアップ」や「クローズアッププラス」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分に合う仕事」 ・ 自分に合うのはどんな仕事か、考えてみよう。(p 1 5)
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「深めよう」のページに，授業で学んだことを生活の中で実践するよう促す「踏み出そう」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「二つの心の対話を演じてみよう」 ・ 心の弱さに負けないために必要なことを考え，これからの行動に生かそう。(p 3 7)
<ul style="list-style-type: none"> 巻末の内容項目別教材一覧に，「他の各教科等との関連例」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：ネット将棋 ○ 他の各教科等との関連例：技術・家庭（技術分野） 	
<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりに，生き方の選択肢を増やす関連情報を示した「クローズアップ」や「クローズアッププラス」，教材の終わりの「深めよう」のページに，授業で学んだことを生活の中で実践するよう促す「踏み出そう」を設けている。また，巻末の内容項目別教材一覧に，「他の各教科等との関連例」を設けている。 		

廣あか つき	【実生活に生かす教材等の扱い，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	実生活に生かす教材等の扱い	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに，自分との関わりで考えたり自己の体験を想起したりして考える発問を示した「考えを広げる・深める」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：あのハチドリのようにワンガリ・マータイ <ul style="list-style-type: none"> ・ マータイさんが共感するハチドリは「私は、私にできることをしているだけ」と言う。自然愛護のために、あなたにできることを考えてみよう。 <p style="text-align: center;">(p 47)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，情報モラル等を題材とした特集ページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「情報機器によるコミュニケーションを考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報機器を使用する際には、画面の向こうの相手だけでなく、今、そばにいる周りの人々への配慮も必要です。 <p style="text-align: center;">(p 175)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に，自己の生活や様々な体験活動との関連を図った発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標の達成を目指し、着実にやり遂げる」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を達成するためには、乗り越えなければならないいくつかの課題がある。自分の目標の達成に向けて階段を一段ずつ上っていくように、その道りをイメージしてみよう。 <p style="text-align: center;">(p 9)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに，自分との関わりで考えたり，自己の体験を想起したりして考える発問を示した「考えを広げる・深める」を設けたり，巻末に，情報モラル等を題材とした特集ページを設けている。また，別冊ノートに，自己の生活や様々な体験活動との関連を図った発問を示している。 		
日科	【実生活に生かす教材等の扱い，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	実生活に生かす教材等の扱い	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりの「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに，実生活に生かすことを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：嘉納治五郎先生との出会い <ul style="list-style-type: none"> ・ 本を手にとって、いろいろな人との出会いを体験してみましょう。 <p style="text-align: center;">(p 69)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを広げたり，深めたりすることをねらいとしたコラムを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書いてみよう 私のいいところはどこ？」 <ul style="list-style-type: none"> ・ これって、今後の自分の生活の中でどんな場面で使えるかな？ <p style="text-align: center;">(p 85)</p>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">• 教材の終わりの「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、実生活に生かすことを促す発問を示している。また、自分の考えを広げたり、深めたりすることをねらいとしたコラムを掲載している。 |
|--|---|

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦分量や教材の数
方 法	○判型, ページ数, 4つの視点ごとの教材数

発行者	調査・研究内容					
東書	【判型】 AB判					
	【ページ数】					
		ページ数				
		本冊	別冊			
	第1学年	181	なし			
第2学年	189	なし				
第3学年	189	なし				
学図	【判型】 AB判					
	【ページ数】					
		ページ数				
		本冊	別冊			
	第1学年	224	なし			
第2学年	228	なし				
第3学年	224	なし				
	【4つの視点ごとの教材数】					
		A	B	C	D	計
	第1学年	7	6	16	6	35
	第2学年	7	6	16	6	35
	第3学年	7	6	16	6	35
<p>・ 判は, AB判。別冊なし。ページ総数181～189。教材数35 (付録の5教材を含む)。</p>						
<p>・ 判は, AB判。別冊なし。ページ総数224～228。教材数35。</p>						

教出	【判型】 B 5 判																							
	【ページ数】																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ページ数</th> </tr> <tr> <th>本冊</th> <th>別冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>194</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>178</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>178</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数		本冊	別冊	第1学年	194	なし	第2学年	178	なし	第3学年	178	なし									
			ページ数																					
本冊		別冊																						
第1学年	194	なし																						
第2学年	178	なし																						
第3学年	178	なし																						
<p>【4つの視点ごとの教材数】 ※ 付録の5教材を含む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 判は、B 5 判。別冊なし。ページ総数178～194。教材数35（付録の5教材を含む）。</p>		A	B	C	D	計	第1学年	8	8	12	7	35	第2学年	7	7	16	5	35	第3学年	5	5	16	9	35
	A	B	C	D	計																			
第1学年	8	8	12	7	35																			
第2学年	7	7	16	5	35																			
第3学年	5	5	16	9	35																			
光村	【判型】 B 5 判																							
	【ページ数】																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ページ数</th> </tr> <tr> <th>本冊</th> <th>別冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>224</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>224</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>232</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数		本冊	別冊	第1学年	224	なし	第2学年	224	なし	第3学年	232	なし									
			ページ数																					
本冊		別冊																						
第1学年	224	なし																						
第2学年	224	なし																						
第3学年	232	なし																						
<p>【4つの視点ごとの教材数】 ※ 第3学年の「村長の決断」は、複数内容項目教材である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>12※</td> <td>8※</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他】 ※ 年間の学習を4つの「シーズン」（まとまり）に分けている。</p> <p>・ 判は、B 5 判。別冊なし。ページ総数224～232。教材数36。年間の学習を4つの「シーズン」（まとまり）に分けている。</p>		A	B	C	D	計	第1学年	8	9	12	7	36	第2学年	9	8	12	7	36	第3学年	10	7	12※	8※	36
	A	B	C	D	計																			
第1学年	8	9	12	7	36																			
第2学年	9	8	12	7	36																			
第3学年	10	7	12※	8※	36																			

日文	【判型】 B 5 判 (別冊も同様)																							
	【ページ数】																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ページ数</th> </tr> <tr> <th>本冊</th> <th>別冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>191</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>191</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>191</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数		本冊	別冊	第1学年	191	40	第2学年	191	40	第3学年	191	40									
			ページ数																					
		本冊	別冊																					
第1学年	191	40																						
第2学年	191	40																						
第3学年	191	40																						
【4つの視点ごとの教材数】																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	計	第1学年	7	6	15	7	35	第2学年	7	6	15	7	35	第3学年	7	6	15	7	35
	A	B	C	D	計																			
第1学年	7	6	15	7	35																			
第2学年	7	6	15	7	35																			
第3学年	7	6	15	7	35																			
<ul style="list-style-type: none"> 判は、B 5 判。別冊あり。ページ総数191 (別冊は40)。教材数35。 																								
学研	【判型】 A 4 判																							
	【ページ数】																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ページ数</th> </tr> <tr> <th>本冊</th> <th>別冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>180</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>184</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>184</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数		本冊	別冊	第1学年	180	なし	第2学年	184	なし	第3学年	184	なし									
			ページ数																					
		本冊	別冊																					
第1学年	180	なし																						
第2学年	184	なし																						
第3学年	184	なし																						
【4つの視点ごとの教材数】																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	計	第1学年	8	7	13	7	35	第2学年	8	7	12	8	35	第3学年	8	8	12	7	35
	A	B	C	D	計																			
第1学年	8	7	13	7	35																			
第2学年	8	7	12	8	35																			
第3学年	8	8	12	7	35																			
<ul style="list-style-type: none"> 判は、A 4 判。別冊なし。ページ総数180～184。教材数35。 																								

廣あか つき	【判型】 AB判 (別冊も同様)																								
	【ページ数】																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ページ数</th> </tr> <tr> <th>本冊</th> <th>別冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>178</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>162</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>158</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数		本冊	別冊	第1学年	178	60	第2学年	162	60	第3学年	158	60										
			ページ数																						
本冊		別冊																							
第1学年	178	60																							
第2学年	162	60																							
第3学年	158	60																							
【4つの視点ごとの教材数】																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	計	第1学年	8	7	12	8	35	第2学年	8	7	12	8	35	第3学年	8	7	12	8	35
	A	B	C	D	計																				
第1学年	8	7	12	8	35																				
第2学年	8	7	12	8	35																				
第3学年	8	7	12	8	35																				
	<p>【その他】</p> <p>※ 別冊ノートでは、教材を内容項目ごとに配列している。</p>																								
	<p>・ 判は、AB判。別冊あり。ページ総数158～178 (別冊は60)。教材数35。別冊ノートでは、教材を内容項目ごとに配列している。</p>																								
日科	【判型】 B5判																								
	【ページ数】																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ページ数</th> </tr> <tr> <th>本冊</th> <th>別冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>192</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>192</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>192</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数		本冊	別冊	第1学年	192	なし	第2学年	192	なし	第3学年	192	なし										
			ページ数																						
本冊		別冊																							
第1学年	192	なし																							
第2学年	192	なし																							
第3学年	192	なし																							
【4つの視点ごとの教材数】																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	計	第1学年	6	8	17	6	37	第2学年	7	8	15	7	37	第3学年	7	7	15	8	37
	A	B	C	D	計																				
第1学年	6	8	17	6	37																				
第2学年	7	8	15	7	37																				
第3学年	7	7	15	8	37																				
	<p>【その他】</p> <p>※ 教材を内容項目順に配列している。</p>																								
	<p>・ 判は、B5判。別冊なし。ページ総数192。教材数37。教材を内容項目順に配列している。</p>																								

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方 法	○いじめ問題・情報モラルの扱い，教材等の例

発行者	調査・研究内容	
東書	【いじめ問題】	
	いじめ問題の扱い	教材等の例
	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で，10教材設定している。 「いじめのない世界へ（1）（2）」として，複数教材をまとめた「いじめ問題対応ユニット」を設け，目次にも示している。 第1学年において，付録に，いじめ問題を扱う教材を設けている。 	<p>※は，「いじめ問題対応ユニット」該当教材</p> <p>〔第1学年〕4教材</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめに当たるのはどれだろう※ 傍観者でいいのか※ ふたつの心※ いじめっ子の気持ち（付録） <p>〔第2学年〕3教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 私のせいじゃない※ あの子のランドセル※ どんなことでも相談し合える仲間に※ <p>〔第3学年〕3教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 無実の罪※ ある日の午後から※ いじめから目をそむけない※
	【情報モラル】	
	情報モラルの扱い	教材等の例
<ul style="list-style-type: none"> 全学年で，5教材設定している。 「みんなで考える観点」として「情報モラルと友情」を設定した教材を，各学年1教材ずつ設けている。 	<p>※は，「情報モラルと友情」該当教材</p> <p>〔第1学年〕1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 短文投稿サイトに友達の悪口を書くと※ <p>〔第2学年〕1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴール※ <p>〔第3学年〕3教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ある日の午後から スマホに夢中！ 合格通知※ 	
<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ問題」に関する教材を，全学年で10教材設定している。「いじめのない世界へ（1）（2）」として，複数教材をまとめたユニットを設け，目次にも示している。 「情報モラル」に関する教材を，全学年で5教材設定している。「みんなで考える観点」として「情報モラルと友情」を設定した教材を，各学年1教材ずつ設けている。 		

学図	【いじめ問題】	
	いじめ問題の扱い	教材等の例
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で9教材(特設ページは5教材) 設定している。 ・ いじめ問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを目次及び教材に付けている。 ・ 第2・3学年の「心の扉」に、いじめ問題を扱う教材を1教材ずつ設けている。 	<p>[第1学年] 3教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 博史のブログ ・ いつも一緒に ・ 卒業文集最後の二行 ・ 特設ページ「さあ、楽しい夏休み！」 <p>[第2学年] 4教材+2教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傍観者でいいのか ・ 茂の悩み ・ 千五百メートル走 ・ 自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること ・ 心の扉「正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平で、差別や偏見のない社会」 ・ 特設ページ「さあ、楽しい夏休み！」 <p>[第3学年] 2教材+2教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鏡の中の私 ・ 僕たちがしたこと ・ 心の扉「正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平で、差別や偏見のない社会」 ・ 特設ページ「さあ、楽しい夏休み！」
	【情報モラル】	
情報モラルの扱い	教材等の例	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年で5教材(特設ページは3教材) 設定している。 ・ 情報モラルを扱う教材には、「情報のモラル」マークを目次及び教材に付けている。 	<p>[第1学年] 1教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 博史のブログ ・ 特設ページ「さあ、楽しい夏休み！」 <p>[第2学年] 1教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット将棋 ・ 特設ページ「さあ、楽しい夏休み！」 <p>[第3学年] 3教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の向こうに ・ 誰が本当の作者？ ・ 鏡の中の私 ・ 特設ページ「さあ、楽しい夏休み！」 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ問題」に関する教材を、全学年で9教材(特設ページは5教材) 設定している。いじめ問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを目次及び教材に付けている。 ・ 「情報モラル」に関する教材を、全学年で5教材(特設ページは3教材) 設定している。情報モラルを扱う教材には、「情報のモラル」マークを目次及び教材に付けている。 		

教出	【いじめ問題】	
	いじめ問題の扱い	教材等の例
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で7教材設定している。 ・ 巻頭で、重点テーマ「いじめや差別のない社会に」を設定し、いじめ問題を扱う教材を示している。 	[第1学年] 3教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじり」？「いじめ」？ ・ ショートパンツ初体験 in アメリカ ・ あなたならどうしますか [第2学年] 2教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしのせいじゃない ・ 最優秀 [第3学年] 2教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたは顔で差別をしますか ・ 卒業文集最後の二行
	【情報モラル】	
情報モラルの扱い	教材等の例	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で5教材設定している。 ・ 巻頭で、重点テーマ「情報とよりよくつき合う」を設定し、情報モラルを扱う教材を示している。 	[第1学年] 2教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で決める ・ ルールとマナー [第2学年] 2教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSとどうつき合う？ ・ 本当の友達って [第3学年] 1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩きスマホをどうするか 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ問題」に関する教材を、全学年で7教材設定している。巻頭で、重点テーマ「いじめや差別のない社会に」を設定し、いじめ問題を扱う教材を示している。 ・ 「情報モラル」に関する教材を、全学年で5教材設定している。巻頭で、重点テーマ「情報とよりよくつき合う」を設定し、情報モラルを扱う教材を示している。 		
光村	【いじめ問題】	
	いじめ問題の扱い	教材等の例
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で24教材（コラムは3教材）設定している。 ・ 様々な内容項目から「いじめの問題」の解決に結びつく教材及びコラムを設けている。 ・ 巻末の「テーマ別教材一覧」に、「いじめを許さないために」というテーマを付けて教材を示している。 ・ 巻末の「内容項目別教材一覧」の「現代的な課題等との関わり」の項目に、いじめ問題を扱う教材を示している。 	[第1学年] 7教材+1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で決めるって？ ・ 魚の涙 ・ コラム「いじめが生まれるとき」 ・ 言葉の向こうに ・ やっぱり樹里は ・ 裏庭での出来事 ・ 親友 ・ 橋の上のおおかみ [第2学年] 10教材+1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ テニス部の危機 ・ 友達はライバル ・ 違うんだよ、健司 ・ 松葉づえ ・ ジコチュウ ・ ちがいの意味を見直す ・ 明日、みんなで着よう ・ 「許せないよね」 ・ 「桃太郎」の鬼退治

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泣いた赤おに ・ コラム『『いじめ』と『いじり』』 <p>〔第3学年〕7教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「知らないよ。」 ・ がんばれ おまえ ・ アイツとオレ ・ ぼくの物語 あなたの物語 ・ 三年目の「ごめんね」 ・ 恩讐の彼方に ・ 巣立ちの歌が聞こえる ・ コラム「自分たちにできること」
【情報モラル】	
<p style="text-align: center;">情報モラルの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で5教材（コラムは3教材）設定している。 ・ 情報モラルの内容を扱ったコラムを読み物教材と組み合わせ設定している。 ・ 巻末の「内容項目別教材一覧」の「現代的な課題等との関わり」の項目に、情報モラルを扱う教材を示している。 	<p style="text-align: center;">教材等の例</p> <p>〔第1学年〕2教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私の話を聞いてね ・ 言葉の向こうに ・ コラム「ネットの書き込み、大丈夫？」 <p>〔第2学年〕2教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢中になるのは悪いこと？ ・ コラム「ネット依存について考えよう」 ・ 「許せないよね」 <p>〔第3学年〕1教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 闇の中の炎 ・ コラム「情報社会に生きる」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ問題」に関する教材を、全学年で24教材（コラムは3教材）設定している。巻末の「テーマ別教材一覧」にテーマを付けて教材を示したり、巻末の「内容項目別教材一覧」に「いじめ問題」を扱う教材を示したりしている。 ・ 「情報モラル」に関する教材を、全学年で5教材（コラムは3教材）設定している。巻末の「内容項目別教材一覧」に、「情報モラル」を扱う教材を示している。 	

日文	【いじめ問題】	
	いじめ問題の扱い	教材等の例（※は、ユニット）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で14教材（コラムは8教材）設定している。 ・ いじめ問題を扱う教材とコラム（プラットホーム）を組み合わせたユニットである「『いじめ』と向き合う」を各学年で設けており、目次に示している。 ・ 巻頭の「この教科書で学ぶテーマ」に、いじめ問題を扱う教材とコラムを示している。 ・ いじめ問題を扱う最初のユニットに、扉ページ「『いじめ』と向き合う」を設けている。 ・ 巻末の「内容項目別教材一覧」に、いじめ問題を扱う教材を示している。 	<p>[第1学年] 7教材+3教材, 3ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さかなのなみだ^{※1} ・ コラム「『いじめ』って何？」^{※1} ・ 近くにいた友^{※1} ・ コラム「怒りの感情と上手につき合おう」^{※1} ・ トマトとメロン^{※1} ・ 二人の約束^{※2} ・ コラム「心の様子をチェックしよう」^{※2} ・ むかで競争^{※2} ・ 旗^{※3} ・ 自分だけ「余り」になってしまう……^{※3} <p>[第2学年] 5教材+3教材, 2ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 五月の風—カナ—^{※1} ・ 五月の風—ミカ—^{※1} ・ コラム「自分の考え方を見つめよう」^{※1} ・ リスペクト アザース^{※1} ・ コラム「人権課題への取り組み」^{※1} ・ ハイタッチがくれたもの^{※2} ・ コラム「『いじめ』をなくすために」^{※2} ・ ヨシト^{※2} <p>[第3学年] 2教材+2教材, 1ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業文集最後の二行^{※1} ・ コラム「私たちは、なぜ人を攻撃するの？」^{※1} ・ 思いを伝えることの難しさ^{※1} ・ コラム「私ってどんな人？」^{※1}
【情報モラル】		
情報モラルの扱い	教材等の例（※は、ユニット）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で7教材（コラムは3教材）設定している。 ・ 情報モラルを扱う教材とコラム（プラットホーム）を組み合わせたユニットである「情報モラル」を各学年で設け、目次に示している。 ・ 巻頭の「この教科書で学ぶテーマ」に、情報モラルを扱う教材とコラムを示している。 ・ 巻末の「内容項目別教材一覧」に、情報モラルを扱う教材を示している。 	<p>[第1学年] 2教材+1教材, 1ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近くにいた友 ・ 使っても大丈夫？[※] ・ コラム「よりよい情報社会のために」[※] <p>[第2学年] 3教材+1教材, 1ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 五月の風—カナ— ・ 五月の風—ミカ— ・ ネット将棋[※] ・ コラム「そんなつもりじゃなかったのよ……」[※] <p>[第3学年] 2教材+1教材, 1ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ある朝のできごと[※] ・ コラム「ネットワーク社会の落とし穴」[※] ・ 言葉の向こうに[※] 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ問題」に関する教材を、全学年で14教材（コラムは8教材）設定している。いじめ問題を扱う教材とコラムを組み合わせたユニットを各学年で設けており、最初のユニットに、扉ページ「『いじめ』と向き合う」を設けている。また、目次や巻頭、巻末に、いじめ問題を扱う教材を示している。 ・ 「情報モラル」に関する教材を、全学年で7教材（コラムは3教材）設定している。情報モラルを扱う教材とコラムを組み合わせたユニットを各学年で設けている。また、目次や巻頭、巻末に、情報モラルを扱う教材を示している。 		

学研	【いじめ問題】	
	いじめ問題の扱い	教材等の例
	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で14教材（特設ページは3教材）設定している。 巻頭の「様々なテーマで学ぼう—主な教材の紹介」に、「いじめをなくすために」というテーマを設定し、教材を示している。 第1学年に、いじめ問題を扱った特設ページ「クローズアップ」「深めよう」を設けている。 	<p>[第1学年] 4教材+2教材</p> <ul style="list-style-type: none"> うわさで決めるの？ 特設ページ「SNSでのいじめについて考える」 裏庭での出来事 特設ページ「どうしてそんなことをするのか」 公平とはなんだろう 吾一と京造 <p>[第2学年] 4教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 旗 ソムチャイ君の笑顔 サキとタク 言葉の向こうに <p>[第3学年] 6教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットと共に 笛 私たちの合唱コンクール どうして？ 卒業文集最後の二行 特設ページ「広い海へ出てみよう」 五井先生と太郎
	【情報モラル】	
情報モラルの扱い	教材等の例	
<ul style="list-style-type: none"> 全学年で6教材（特設ページは5教材）設定している。 情報モラルを扱う教材には、目次や教材の冒頭に、マークを付けて示している。 情報モラルを扱った特設ページ「クローズアップ」「クローズアッププラス」「深めよう」を設けている。 	<p>[第1学年] 3教材+2教材</p> <ul style="list-style-type: none"> うわさで決めるの？ 特設ページ「SNSでのいじめについて考える」 ネット将棋 日曜日の朝に 特設ページ「歩きスマホは危険がいっぱい」 <p>[第2学年] 1教材+1教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 特設ページ「熊本地震 被災地支援 SNSが威力」 言葉の向こうに <p>[第3学年] 2教材+2教材</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットと共に 特設ページ「住みよい社会にするために」 便利なスマホ 使い方次第で 特設ページ「携帯電話のマナー、守れていますか」 	
<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ問題」に関する教材を、全学年で14教材（特設ページは3教材）設定している。巻頭の「様々なテーマで学ぼう—主な教材の紹介」に、「いじめをなくすために」というテーマを設定し、教材を示している。 「情報モラル」に関する教材を、全学年で6教材（特設ページは5教材）設定している。「情報モラル」を扱っている教材には、目次や教材の冒頭に、マークを付けて示している。 		

廣あかつ き	【いじめ問題】	
	いじめ問題の扱い	教材等の例
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で9教材（コラムや別冊ノートは4教材）設定している。 ・ 第1学年に、いじめ問題を扱ったコラム「thinking」を設けている。 ・ 各学年の別冊ノートにいじめ問題を扱う教材を設けている。 	[第1学年] 2教材+2教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨシト ・ コラム「してもよい『いじめ』などない」 ・ ある日のバッテリーボックス ・ 別冊ノート「いじめ撲滅宣言」 [第2学年] 3教材+1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 君、想像したことある？ ・ 路上に散った正義感 ・ 最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく ・ 別冊ノート「いじめの構造」 [第3学年] 4教材+1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ スダチの苗木 ・ 卒業文集最後の二行 ・ ピヨ子 ・ 虹の国 - ネルソン・マンデラ - ・ 別冊ノート「世界人権宣言」
	【情報モラル】	
情報モラルの扱い	教材等の例	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で5教材（特集ページは3教材）設定している。 ・ 各学年で、巻末に情報モラルを扱った特集ページを設けている。 	[第1学年] 2教材+1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット将棋 ・ 言葉の向こうに ・ 特集ページ「情報機器によるコミュニケーションを考える」 [第2学年] 2教材+1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ いつでも・どこでも・誰とでも ・ 君、想像したことある？ ・ 特集ページ「情報機器と私たちの生活を考える」 [第3学年] 1教材+1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ ピヨ子 ・ 特集ページ「情報社会を生きていくために」 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ問題」に関する教材を、全学年で9教材（コラムや別冊ノートは4教材）設定している。 ・ 「情報モラル」に関する教材を、全学年で5教材（巻末の特集は3教材）設定している。 		

日科	【いじめ問題】	
	いじめ問題の扱い	教材等の例
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で9教材設定している。 	[第1学年] 4教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ いつもいっしょに ・ プロレスごっこ ・ 過去からのメッセージ ・ 誰かのために [第2学年] 2教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンスタンチン君 命のリレー ・ キミばあちゃんの椿 [第3学年] 3教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ ひさの星 ・ いのちの絆 ・ いつかは言いたい二度目のごめん
	【情報モラル】	
	情報モラルの扱い	教材等の例
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年で4教材（コラムは1教材）設定している。 	[第1学年] 1教材+1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ コラム「ネット・コミュニケーション」 [第2学年] 2教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット将棋 ・ 言葉の向こうに [第3学年] 1教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一通のメッセージから始まる物語 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ問題」に関する教材を、全学年で9教材設定している。 ・ 「情報モラル」に関する教材を、全学年で4教材（コラムは1教材）設定している。 		

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	内容の表現・表記
視 点	㊟巻頭・巻末等の取扱いの工夫
方 法	○巻頭・巻末等の示し方

発行者	調査・研究内容	
東書	【巻頭・巻末等の示し方】（オリエンテーションのページは除く）	
	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
	<ul style="list-style-type: none"> 目次には、見開き2ページで、4つの視点で色分けしたマークと共に全ての教材名を示している。また、教材の構成や教材に付いているマークについての説明も掲載している。 折り込みページの扉に、見開き2ページで、写真を背景にした詩を掲載している。 見開き2ページで、「1年間で学ぶこと」として、4つの視点ごとに教材名を示している。また、学年の初めに頑張りたいことについて記入する欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 付録に、第1学年では小学校の道徳の時間に学習した教材、第2学年では読書案内、第3学年では社会で活躍する「先輩」の話を掲載している。また、全学年に「郷土のことを考える」として、見開き2ページで、郷土の発展を支える人物や伝統・文化、技術や産業などを、掲載している。 「テーマでふり返ろう」として、6つのテーマで教材を分類して示している。 「自分の学びをふり返ろう」として、切り取り式の自己評価用紙を各学期分設けている。 教材中の登場人物や自己の心の葛藤を、2つの色の割合で表す「心情円」及びホワイトボード用紙を設けている。（切り取り式）
<ul style="list-style-type: none"> 巻頭：目次では、見開き2ページで、教材名や教材の構成等についての説明を示している。また、写真を背景にした詩、「1年間で学ぶこと」として、教材名を4つの視点ごとに示している。 巻末：「郷土のことを考える」等の付録や、テーマごとに教材を分類したページ、学期ごとに学習の記録を記入するページ、切り取り式の「心情円」や「ホワイトボード用紙」を設けている。 		

学図	【巻頭・巻末等の示し方】（オリエンテーションのページは除く）	
	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
	<ul style="list-style-type: none"> 目次には、3ページにわたって、4つの視点で色分けしたマークと共に全ての教材名を示している。また、教材に付いているマークについての説明を掲載している。 「心の扉」の該当ページを、4つの視点ごとに分類して示している。 見開き2ページで、良好な学級集団の構築をねらったグループワークである「学級づくり」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の振り返りを記入するページを設けている。 「保護者の方へ この教科書で目指すこと」を4つの視点ごとに示している。 「教材一覧」として、教材名を4つの視点で色分けをしてキーワードごとに示している。
<ul style="list-style-type: none"> 巻頭：3ページにわたって目次やマークについての説明や、4つの視点ごとに分類した「心の扉」の該当ページを示している。また、良好な学級集団の構築をねらったグループワークを掲載している。 巻末：一年間の振り返りを記入するページや、保護者の方に対する「この教科書で目指すこと」を示したページ、4つの視点及びキーワードごとの「教材一覧」を掲載している。 		
教出	【巻頭・巻末等の示し方】（オリエンテーションのページは除く）	
	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
	<ul style="list-style-type: none"> 目次には、見開き2ページで、4つの視点で色分けした教材番号と共に全ての教材名を示している。また、4つの視点を示すと共に、「学びの道しるべ」等のコーナーの活用を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「道徳の学びを記録しよう」として、印象に残った教材や考えたことを書き込む欄、新しい発見があったりになったと感じたりした教材に色を塗る内容項目ごとの教材一覧を設けている。 第1・2学年では「どんな〇年生になりたいか」、第3学年では「そして、未来へ……」として、どんな上級生や大人になりたいかを、書き込む欄がある。家の人や先生が書き込む欄もある。 「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を折り込みページで掲載している。
<ul style="list-style-type: none"> 巻頭：目次では、見開き2ページで、4つの視点で色分けした教材番号と共に全ての教材名を2段で示している。また、「学びの道しるべ」等のコーナーの活用を促している。 巻末：印象に残った教材や考えたことを書き込む「道徳の学びを記録しよう」、家の人や先生が書き込む欄を含めた「どんな〇年生になりたいか」等、「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を掲載している。 		

【巻頭・巻末等の示し方】（オリエンテーションのページは除く）	
巻頭等の示し方	巻末等の示し方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目次の前に、見開き2ページで、イラストを背景にした詩を掲載している。 ・ 目次に、見開き2ページで、学習のまとめ（四つのシーズン）を色で区別し、全ての教材名や学習する時期を示している。また、ユニットのテーマ、教材の冒頭に付いているマークについて紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年は、「日本の郷土玩具」、第2学年は「日本各地の世界遺産」、第3学年は「日本の先駆者たち」「茶道に込められた礼儀の心」を、それぞれ見開きで掲載している。 ・ 第3学年において、「人生目標年表を書こう」のページを見開き2ページで設けている。 ・ 7つのテーマに分けた「テーマ別教材一覧」を見開き2ページで掲載している。 ・ 各分野で活躍している人のメッセージを見開き2ページで掲載している。 ・ 「先生方へーこの教科書が目ざした1年生の姿」として、「現代的な課題等との関わり」「他教科・領域との関わり」を示した「内容項目別教材一覧」を設けている。 ・ 四つのシーズンごとに道德の時間を振り返る「学びの記録」を、切り取り式の折り込みページで設けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭：目次の前にイラストを背景にした詩を掲載している。また、目次に学習のまとめを色で区別して全ての教材名や学習する時期を示すと共に、ユニットのテーマや教材の冒頭に付いているマークについて紹介している。 ・ 巻末：「日本の郷土玩具」等の資料、各分野で活躍している人のメッセージ、テーマ別教材一覧、「内容項目別教材一覧」、四つのシーズンごとに道德の時間を振り返る切り取り式の折り込みページ「学びの記録」を設けている。 	

光村

日文	【巻頭・巻末等の示し方】（オリエンテーションのページは除く）	
	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
	<ul style="list-style-type: none"> 目次の前に、見開き2ページで、写真と共に学年の大テーマ等を掲載している。 目次に、見開き2ページで、4つの視点で色分けした教材番号及び全ての教材名を示している。また、教材に付いているマークについての説明を掲載している。 見開き2ページで、「この教科書で学ぶテーマ」を示し、『いじめ』と向き合うのテーマには囲みがある。 別冊「道徳ノート」の目次には、4つの視点で色分けした教材番号及び全ての教材名、「道徳ノートの使い方」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマや教科等との関連等を記載した「内容項目別教材一覧」を設けている。 見開き2ページで、写真を背景にした詩を掲載している。 別冊「道徳ノート」には、3ページにわたって、話合いの内容をメモしたりまとめたりする欄を、1ページで、道徳の学習で学んだことを書き込む欄を設けている。
<ul style="list-style-type: none"> 巻頭：目次の前に写真及び学年の大テーマ等を、目次に全ての教材名を、また、「この教科書で学ぶテーマ」を示している。別冊ノートには、目次及び「道徳ノートの使い方」を示している。 巻末：テーマや教科等との関連等を記載した「内容項目別教材一覧」、写真を背景にした詩を掲載している。また、別冊ノートには、話合いの内容をメモしたりまとめたりする欄等を設けている。 		
学研	【巻頭・巻末等の示し方】（オリエンテーションのページは除く）	
	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
	<ul style="list-style-type: none"> 目次の前に、見開き2ページで、写真及び著名人の言葉を掲載している。 目次に、見開き2ページで、4つの視点で色分けをしたライン及び全ての教材名を示している。また、4つの視点についての紹介及び教材に付いているマークについての説明を掲載している。 見開き2ページで、「よりよく生きるための22の鍵」及び教材名を4つの視点に分類し示している。 「様々なテーマで学ぼう」として、6つのテーマに合わせて教材名を分類している。 自分の好きな言葉等を記入する「マイプロフィール」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「心の四季」として、「大切な友達に贈りたい言葉」など4つの項目について書き込むページを設けている。 第3学年において、未来への自分に手紙を書く「未来への扉」を設けている。 「教材と学習指導要領・道徳の内容及び他の各教科等との関連例」を設けている。
<ul style="list-style-type: none"> 巻頭：目次の前に写真及び著名人の言葉、目次には全ての教材名を2段で示している。また、教材名を内容項目や6つのテーマに合わせて分類したページや、自分の好きな言葉等を記入する「マイプロフィール」を掲載している。 巻末：「心の四季」として、「大切な友達に贈りたい言葉」など4つの項目について書き込むページを設けている。また、「教材と学習指導要領・道徳の内容及び他の各教科等との関連例」を設けている。 		

廣あかつき	【巻頭・巻末等の示し方】（オリエンテーションのページは除く）	
	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
	<ul style="list-style-type: none"> 目次に、見開き2ページで、全ての教材名を示している。また、4つの視点とマークとの対応及び記載例を掲載している。 1ページで、豊かな自己の形成のための段階を掲載している。 別冊「道徳ノート」の目次に、4つの視点で色分けをして、内容項目の概要を示している。また、好きなスポーツ等について書き込む「中学〇年生の私」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で「情報モラル」について、さらに、第1学年で「現代的な課題」、第2学年以上で「持続可能な社会」について考えるコラムを、合計4ページで掲載している。 「内容一覧」として、教材名及び内容項目、作者を記載している。 4つの視点で色分けし、内容項目の概要及び全ての教材名を示している。 別冊「道徳ノート」には、「心に残っている授業の記録」を2ページで、「話し合い活動の記録」を2ページで、「学習の記録」を5ページで、教材ごと及び内容項目ごとの自己評価等をする「心のしおり」を折り込みページで設けている。
<ul style="list-style-type: none"> 巻頭：目次に全ての教材名を、その次のページに豊かな自己の形成のための段階を示している。また、別冊ノートの目次に内容項目の概要を、その次のページに自分のことについて書き込む「中学〇年生の私」を設けている。 巻末：「情報モラル」等について考えるコラムや「内容一覧」のページを設けている。また、別冊ノートには、学習の記録ページや、教材ごと及び内容項目ごとの自己評価等をする「心のしおり」を折り込みページで設けている。 		
日科	【巻頭・巻末等の示し方】（オリエンテーションのページは除く）	
	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
	<ul style="list-style-type: none"> 目次に、見開き2ページで、4つの視点で色分けをして、全ての教材名を内容項目順に示している。 見開き2ページで、写真やイラストを背景として、詩を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページで、1年間の成長や道徳の授業等について振り返るページを設けている。 「学習指導要領対応表」として、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、全ての教材名を示している。 見開き2ページで、写真を背景にした詩を掲載している。〔第3学年〕
<ul style="list-style-type: none"> 巻頭：目次に、全ての教材名を内容項目順に2段で示している。また、写真やイラストを背景とした詩を掲載している。 巻末：1年間の成長や道徳の授業等について振り返るページを設けている。また、「学習指導要領対応表」として、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに全ての教材名を示している。 		

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩教材の内容を理解させる工夫
方 法	○マーク・キャラクター等の示し方, 活用の具体例

発行者	調査・研究内容	
東書	【マーク・キャラクター等の示し方, 活用の具体例】	
	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 目次及び全ての教材の冒頭に, 4つの視点をマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 該当する4つの視点を示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 教材名の上に, 「ACTION!」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 役割演技などを取り入れた学習であることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の後のコラムに, 「Plus」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材で学習した内容を広げるためのコラムであることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 教材名の下に, 教科関連マークやDマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連する教科があるものは教科関連マーク, デジタルコンテンツを用意しているものはDマークを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりに, 「考えてみよう!」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材を読んで考える問いであることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の下段に, 「つぶやき」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 思ったことや考えたことを書き込む欄であることを示している。
<ul style="list-style-type: none"> 目次や「ACTION!」等で, 生徒(あや, しょう), 先生(第1学年: 林先生, 第2学年: 山本先生, 第3学年: 久保田先生)及び案内役(考えタイガー)を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方を示している。 	
<ul style="list-style-type: none"> 目次及び全ての教材の冒頭に4つの視点を示したマーク, 教材の終わりに「考えてみよう」のマーク, 教材の下段に「つぶやき」のマークを設定している。その他, 「ACTION!」のマーク, 「Plus」のマーク, 教科関連マーク, デジタルコンテンツが用意されていることを示すDマークを設定している。また, キャラクターとして, 学習の進め方を示す「考えタイガー」等を設定している。 		

学図	【マーク・キャラクター等の示し方，活用の具体例】	
	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
	・ 目次及び全ての教材の冒頭に，4つの視点をマークで示している。	・ 該当する4つの視点を示している。
	・ 全ての教材の終わりに，活動のマーク「考えよう」「見つめよう」「意見交換」を設定している。	・ 「学びに向かうために」のコーナーに，それぞれの活動を促す発問であることを示している。
	・ 全ての教材の冒頭の下に，「大切な10のポイント」のマークを設定している。	・ 「いじめの防止」「社会の持続的な発展」等10種類のマークを使い，深く考えるポイントを示している。
	・ 教材の後に，「心の扉」をマークで示している。	・ 道徳的価値を深めたり，多面的・多角的なものの見方や考え方を促したりするページであることを示している。
	・ 巻末に，鉛筆のマークを設定している。 ・ 全ての教材の終わりに，「振り返ろう」のマークを設定している。	・ 考えや振り返りを書き込む欄であることを示している。 ・ 「学びの記録」の該当ページであることを示している。
<p>・ 目次及び全ての教材の冒頭に，4つの視点を示したマーク，教材の終わりに，「考えよう」「見つめよう」等の活動のマーク，教材の冒頭の下に，「いじめの防止」等の「大切な10のポイント」のマーク，教材の終わりに，「振り返ろう」のマークを示している。また，「心の扉」のマーク，巻末の「学びの記録」等にある考えや振り返りを書き込む欄に鉛筆のマークを設定している。</p>		
教出	【マーク・キャラクター等の示し方，活用の具体例】	
	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
	・ 目次及び全ての教材の冒頭に，4つの視点を色分けして示している。	・ 該当する4つの視点を示している。
	・ 教材の終わりに，「学びの道しるべ」のマークで設定している。	・ みんなで話し合ったり，さまざまな立場から考えたり，考えを広げ深めていったりするための発問であることを示している。
	・ 教材名の下及び「学びの道しるべ」に，「問い」のマークを設定している。	・ 4つの視点で色分けしたマークを使い，意識付け等の問いであることを示している。
・ 教材の後に「やってみよう」のマークを設定している。	・ 実際に場面を演じたり，よりよい行いの練習をしたりして，教材での学びを深める活動であることを示している。	
<p>・ 目次及び全ての教材の冒頭に，4つの視点を示したマーク，教材の終わりに，「学びの道しるべ」のマーク，教材名の下及び「学びの道しるべ」に，「問い」のマーク，教材の後に「やってみよう」のマークを設定している。</p>		

光村	【マーク・キャラクター等の示し方，活用の具体例】	
	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 目次及び扉ページに，1年間を4つに分けたまとまりを示すシーズンのマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 4・5月，6～8月，9～12月，1～3月のまとまりを色分けし，4つのシーズンとして示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 全ての教材の冒頭に，4つの視点をマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容項目と共に，4つのシーズンで色分けしたマークを使い，該当する4つの視点を示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 「コラム」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代的な課題について学びを深めたり，人とよりよい関係を築くための「こつ」を身に付けたりするためのコラムであることを示している。
<ul style="list-style-type: none"> 全ての教材の冒頭に，4つの視点を示したマークを設定している。また，目次及び扉ページに，1年間を4つに分けたまとまりを示すシーズンのマーク，現代的な課題について学びを深めるページに「コラム」のマークを設定している。 		
日文	【マーク・キャラクター等の示し方，活用の具体例】	
	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 全ての教材の冒頭及び別冊「道徳ノート」の教材名の横に，4つの視点をマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 該当する4つの視点を示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 目次及び教材の冒頭の下に，問題解決的な学習，体験的な学習のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習のマークは，学習するなかで道徳的な問題をつかみ，その解決に向けて考えたり話し合ったりすることを，体験的な学習のマークは，動作や演技をとおして考える学習であることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 目次及び教材の冒頭の下に，「デジタルマーク」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトで授業に役立つ資料の提供があることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 目次及び教材の終わり，別冊「道徳ノート」に，「考えてみよう」「自分に+1」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えてみよう」のマークは，考えたり，議論したりしたい内容であることを，「自分に+1」のマークは，これからの自分にどう生かすかを考える内容であることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 目次及び教材の後に，「プラットホーム」，「参考」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「プラットホーム」のマークは，学習した内容を広げ，考えや視野を広げるコラムであることを，「参考」のマークは，学習した内容を理解する助けになるコラムであることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> 「私の生き方」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な分野で活躍している方の生き方や，中学生への応援メッセージを掲載していることを示している。
<ul style="list-style-type: none"> 全ての教材の冒頭及び別冊ノートの教材名の横に，4つの視点をマークで示している。また，目次や教材に，問題解決的な学習や体験的な学習のマーク，「デジタルマーク」，「プラットホーム」のマーク，「参考」のマーク，「私の生き方」のマークを設定している。さらに，目次や教材の終わり及び別冊「道徳ノート」に，「考えてみよう」「自分に+1」のマークを設定している。 		

学研	【マーク・キャラクター等の示し方，活用の具体例】	
	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
	・ 目次及び全ての教材の冒頭に，4つの視点を色分けして示している。	・ 該当する4つの視点を示している。
	・ 教材の終わりに，4つの視点の色と同じ色の旗のマークを設定している。	・ 考えを深め，自己を見つめるきっかけとなる問いであることを示している。
	・ 教材の後に「クローズアップ」「クローズアッププラス」のマークを設定している。	・ 関連情報（「クローズアップ」）や，視点や学習内容の違う関連情報（「クローズアッププラス」）のマークであることを示している。
	・ 目次や教材の冒頭に，「深めよう」のマークを設定している。	・ 問題解決的な学習や体験的な学習に取り組みやすいページであることを示している。
	・ 目次や教材の冒頭に，情報モラルのマークを設定している。	・ 情報社会における生き方を考えるページであることを示している。
	・ 書き込み欄のマークを設定している。	・ 自分の考えを書く場所であることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目次及び全ての教材の冒頭に，4つの視点を色分けして示している。また，教材の終わりに，4つの視点の色と同じ色の旗のマーク，教材の後に「クローズアップ」「クローズアッププラス」「深めよう」のマーク，情報モラルのマーク，書き込み欄のマークを設定している。 	
廣あかつき	【マーク・キャラクター等の示し方，活用の具体例】	
	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
	・ 全ての教材の冒頭に，4つの視点を色分けした丸で示している。	・ 該当する4つの視点を示している。
	・ 教材の終わりに，「考える・話し合う」「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」のマークを設定している。	・ 目当てや問いを示している。
	・ 教材の終わりに，木の葉マークを設定している。	・ 先人や著名人の言葉を掲載している。
	・ 該当ページに「thinking」のマークを設定している。	・ 教材と関連して学びを深める特集であることを示している。
	・ 別冊「中学生の道徳ノート」の中に，鉛筆のマークを設定している。	・ 自分の考えを書く欄を示している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての教材の冒頭に，4つの視点を色分けした丸を示している。また，教材の終わりに，「考える・話し合う」等のマーク，先人や著名人の言葉を掲載しているところに木の葉マーク，教材と関連して学びを深める特集のページに「thinking」のマーク，別冊ノートの中で自分の考えを書く欄に，鉛筆のマークを設定している。 	

【マーク・キャラクター等の示し方，活用の具体例】	
マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
<ul style="list-style-type: none"> • 全ての教材の冒頭に，4つの視点を色分けして示している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 該当する4つの視点を示している。
<ul style="list-style-type: none"> • 教材の終わりに，「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 発問であることを示している。
<ul style="list-style-type: none"> • 特設ページに，「もっと知りたい」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「もっと知りたい」の他に，第1学年は「交通安全に気をつけよう」等の5つのマーク，第2学年は「書いてみよう」等の5つのマーク，第3学年は「考えてみよう」等の2つのマークを設定している。
<ul style="list-style-type: none"> • 全ての教材の冒頭に，4つの視点を色分けして示している。また，教材の終わりに，「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」のマーク，特設ページに，「もっと知りたい」等のマークを設定している。 	

日科

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑪考えを伝え合う活動の工夫
方 法	○話し合いを促す示し方，具体例

発行者	調査・研究内容						
東書	<p>【話し合いを促す示し方，具体例】</p> <p>※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">話し合いを促す示し方</th> <th style="width: 50%;">具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、「話し合いの手引き」を設定して示すと共に，ショートストーリーを例とした話し合いの場面を設定し，話し合いの具体的なプロセス等を示している。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いのときの約束」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会者は下記の「司会カード」を参考に進めます。(p 3) ○ 「司会カード」 <ul style="list-style-type: none"> ・ これから話し合いを始めます。まず〇〇さん，自分の考えを発表してください。(p 3) ○ 『拓哉のなやみ』を読んで，考えてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・ グループになって話し合いましょう。ほかのグループで出た意見も聞いてみましょう。(p 5) </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の途中や終わり「考えてみよう！」のコーナーに，話し合いを促す発問を示している。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：いじめに当たるのはどれだろう <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめだと判断した場面とその理由について，グループで話し合いましょう。(p 26) ○ 教材名：思いやりの日々 <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究の対話「p 4 c (ピーフオーシー)」をしてみましょう。 ・ p 4 c のルールに沿って対話をしましょう。 ・ さらに問いを出し合いながら，対話を楽しみましょう。(p 102) </td> </tr> </tbody> </table>	話し合いを促す示し方	具体例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、「話し合いの手引き」を設定して示すと共に，ショートストーリーを例とした話し合いの場面を設定し，話し合いの具体的なプロセス等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いのときの約束」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会者は下記の「司会カード」を参考に進めます。(p 3) ○ 「司会カード」 <ul style="list-style-type: none"> ・ これから話し合いを始めます。まず〇〇さん，自分の考えを発表してください。(p 3) ○ 『拓哉のなやみ』を読んで，考えてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・ グループになって話し合いましょう。ほかのグループで出た意見も聞いてみましょう。(p 5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の途中や終わり「考えてみよう！」のコーナーに，話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：いじめに当たるのはどれだろう <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめだと判断した場面とその理由について，グループで話し合いましょう。(p 26) ○ 教材名：思いやりの日々 <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究の対話「p 4 c (ピーフオーシー)」をしてみましょう。 ・ p 4 c のルールに沿って対話をしましょう。 ・ さらに問いを出し合いながら，対話を楽しみましょう。(p 102)
	話し合いを促す示し方	具体例					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、「話し合いの手引き」を設定して示すと共に，ショートストーリーを例とした話し合いの場面を設定し，話し合いの具体的なプロセス等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いのときの約束」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会者は下記の「司会カード」を参考に進めます。(p 3) ○ 「司会カード」 <ul style="list-style-type: none"> ・ これから話し合いを始めます。まず〇〇さん，自分の考えを発表してください。(p 3) ○ 『拓哉のなやみ』を読んで，考えてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・ グループになって話し合いましょう。ほかのグループで出た意見も聞いてみましょう。(p 5) 					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の途中や終わり「考えてみよう！」のコーナーに，話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：いじめに当たるのはどれだろう <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめだと判断した場面とその理由について，グループで話し合いましょう。(p 26) ○ 教材名：思いやりの日々 <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究の対話「p 4 c (ピーフオーシー)」をしてみましょう。 ・ p 4 c のルールに沿って対話をしましょう。 ・ さらに問いを出し合いながら，対話を楽しみましょう。(p 102) 						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に，「話し合いの手引き」やショートストーリーを例とした話し合いの場面を設定し，話し合いの具体的なプロセス等を示している。また，教材の途中や終わりに，話し合いを促す発問を示している。 							

学図	【話し合いを促す示し方，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	話し合いを促す示し方	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道徳の学習を始めよう！」の中に，話し合いのポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、議論するために」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考え、意見を積極的に言う ・ クラス全員が発言する授業にする ・ 友達の意見をしっかりと聞く ・ みんなで一緒に考える (p 2, 3)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学級づくり」のページにおいて，話し合いを促すグループワークを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞こう・話そう さいころトーク」 <ul style="list-style-type: none"> ・ クラス全体か、または班ごとに別れ、話題に沿って話をする。 (p 4, 5)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の終わり「学びに向かうために」のコーナーに，教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：誰も知らない ≪考えよう 意見交換≫ <ul style="list-style-type: none"> ・ まりこに聞かせたくない言葉を吐く人と、毎日まりこに声をかけてくれる人たちは、それぞれどんな気持ちでまりこを見ているのか。考えたことを出し合おう。 (p 13)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道徳の学習を始めよう！」の中に，話し合いのポイントを示すと共に，「学級づくり」のページにおいて，話し合いを促すグループワークを設けている。また，教材の終わり「学びに向かうために」のコーナーに，教材における話し合いを促す発問を示している。 		

【話し合いを促す示し方，具体例】	
※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
話し合いを促す示し方	具体例
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道德って、どんなふうに学習したらいいの？」の中に，話し合いのポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「友達と考えを出し合って」 ・ なるほど、そういう見方もできるね。 ・ みんなで話し合う中で、新しい考えが出てきたよ。 (p 4)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の終わり「学びの道しるべ」のコーナーに，教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：おはよう ・ 「形だけの挨拶をする」と、「黙っていても相手を思っている」と、どちらがよいと思うだろうか。理由も含めて話し合おう。 (p 17)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年において，教材の途中で，話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：「いじり」？「いじめ」？ ・ みなさんが、あってもよいと思う「いじり」はどのようなものか、理由も含めて考えてみましょう。考えたことをもとに、話し合ってみましょう。 (p 38)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のページ「やってみよう」に，教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：不自然な独り言 ・ あなた自身に，他の人の助けを借りたかったけれどお願いできなかったという経験はありませんか。それはどんな状況で，どうしてお願いできなかったのでしょうか。グループで話し合ってみましょう。 (p 27)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道德って、どんなふうに学習したらいいの？」の中に，話し合いのポイントを示すと共に，教材の終わり「学びの道しるべ」のコーナーに，教材における話し合いを促す発問を示している。また，活動のページ「やってみよう」に，教材における話し合いを促す発問を示している。 	

教出

光村	【話し合いを促す示し方，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
	話し合いを促す示し方	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 第1・2学年において，巻頭『対話』で広がる，「道徳の時間」の中に，話し合いのポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 『他者』との対話 <ul style="list-style-type: none"> グループやクラスで意見を出し合ったり，議論したりすると，どんなことに気づくだろう。(p 4)
	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年において，コラムの中に「考えよう」を設定し，内容における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめが生まれるとき」 <ul style="list-style-type: none"> このような場面に出会ったとき，Bさんの立場からは，悪ふざけをしている人たちに直接注意する以外に，どんなことができるだろう。クラスで話し合うなどして，いろいろな方法を考えてみよう。(p 6 5)
光村	<ul style="list-style-type: none"> 第2・3年生において，「てびき」や「確かめよう」のページに，話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「確かめよう」[第2学年] <ul style="list-style-type: none"> 次の文章を読んで，後の①から⑤の話し合いの手順で実際に確かめよう。(p 5 9) 「てびき」[第2学年] <ul style="list-style-type: none"> 25ページの詩を読んで，思ったことや感じたことを発表し合おう。(p 2 9)
	<ul style="list-style-type: none"> 第1・2学年では，巻頭『対話』で広がる，「道徳の時間」の中に，話し合いのポイントを示し，第1学年では，コラムの中に「考えよう」を設定し，内容における話し合いを促す発問を，第2・3学年では，「てびき」や「確かめよう」のページに話し合いを促す発問を示している。 	
	【話し合いを促す示し方，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
日文	話し合いを促す示し方	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭「道徳科での学び方」の中に，話し合いのポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びをより深めるための手立て」 <ul style="list-style-type: none"> みんなと話し合い，意見を交流して，自分の考えと比べ，多面的・多角的に考えよう。(p 3)
	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年において，教材の終わり「自分に+1」のコーナーに，教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材名：銀メダルから得たもの[第3学年] <ul style="list-style-type: none"> より高い目標をめざすことについて，感じたり学んだりしたことを話し合い，まとめてみよう。(p 9)
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わり「学習の進め方」のページに，教材における話し合いを促す発問や「話し合いの例」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材名：あったほうがいい？ <ul style="list-style-type: none"> ゴミ問題を解決するためにはどうしたらよいか，どんな考え方が大切か話し合おう。 「話し合いの例」自分の考えを発表する。→友達の見解を聞く。→再

		度よく考える。 (p 60)
	・ 「プラットホーム」の「まとめ」で、内容における話し合いを促している。	○ 『「いじめ」って何?』 ・ なぜ「いじめ」が起き、止められないことがあるのかを考え、どうすれば「いじめ」をなくせるかをしっかり話し合ってみましょう。 (p 34)
	・ 別冊「道徳ノート」の各ページ及び巻末に、友達の意見や話し合いをメモする欄を設けている。	○ 教材名：あったほうがいい? ・ 友達の意見や話し合いをメモしよう。 (p 11) ○ 「MEMO」 ・ 話し合いの内容をメモしたり、まとめたりしよう。 (p 37～39)
	<p>・ 巻頭「道徳科での学び方」の中に、話し合いのポイントを、教材の終わり「学習の進め方」のページに、教材における話し合いを促す発問や「話し合いの例」を示している。また、別冊「道徳ノート」の各ページ及び巻末に、友達の意見や話し合いをメモする欄を設けている。</p>	
学研	<p>【話し合いを促す示し方，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>	
	話し合いを促す示し方	具体例
	<p>・ 巻頭「新しい扉を開く」の中に、「考えを深める四つのポイント」の一つとして、話し合いのポイントを示している。</p>	<p>○ 「考え深める四つのポイント」 《話し合い、磨き合う》 ・ 話し合いをして、考えを磨き合う。 ・ 自分の考えを、理由をはっきりさせて書いたり発表したりする。 ・ 友達の考えと自分の考えを比べ、自分の考えを膨らませる。 (p 2, 3)</p>
	<p>・ 第2・3学年において、教材の終わりに、教材における話し合いを促す発問を示している。</p>	<p>○ 教材名：キャッチボール [第2学年] ・ 明夫の話から気になる問題を取り出して、話し合ってみよう。 (p 86)</p>
<p>・ 教材の終わり「深めよう」のページに、「話し合おう」を設定し、「グループでの話し合いの流れ」等を示している。</p>	<p>○ 「深めよう SNSでのいじめについて考える」 《話し合おう》 ・ 私がBさんともっと親しくなりたいと思うようになったのは、なぜだろう。 ＜グループでの話し合いの流れ＞ ① 小グループに分かれる。 ② 進行係を決める。 ③ 順番を決め、それぞれ自分の考えを発表する。</p>	

		<p>④ 友達の考えを、自分の考えと比べる。 (p 27)</p>
	<p>・ 巻頭「新しい扉を開く」の中に、話合いのポイントを示している。また、第2・3学年において、教材の終わりに、教材における話合いを促す発問を、各学年の教材の終わり「深めよう」のページに、「話し合おう」を設定し、「グループでの話し合いの流れ」を示している。</p>	
<p>廣あかつき</p>	<p>【話合いを促す示し方，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>	
	<p>話合いを促す示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「自分を見つめようー道徳の時間とはー」の中に、話合いの意義を示している。〔第1学年〕 ・ 巻頭「自分を考えようー道徳の時間とはー」の中に、話合いの意義を示している。〔第2学年〕 ・ 巻頭「自分をのばそうー道徳の時間とはー」の中に、話合いの意義を示している。〔第3学年〕 	<p>具体例</p> <p>○ 「自分を見つめようー道徳の時間とはー」 《ともに考え、話し合う》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを他の人に分かりやすく伝え、他の人の考えをよく聞きましょう。そうすることで相互理解が深まるだけでなく、自分自身の見方や考え方を広げたり、深めたりすることができます。 <p>(p 3)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の終わり「考える・話し合う」のコーナーに、教材における話合いを促す発問を示している。 	<p>○ 教材名：ヨシト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめをする人は卑怯であり、傍観者も卑怯である。このことをしっかりと認識したうえで、いじめのない愛のある学級にするためにどんなことが大切なのか、皆で話し合ってみよう。 <p>(p 40)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、「話し合い活動の記録」を設定している。 	<p>○ 「話し合い活動の記録」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いを通して新たに気づいたこと・考えたこと <p>(p 54)</p>
	<p>・ 巻頭「道徳の時間とは」の中に、話合いの意義を示したり、教材の終わり「考える・話し合う」のコーナーに、教材における話合いを促す発問を示したりしている。また、別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、「話し合い活動の記録」を設定している。</p>	

【話し合いを促す示し方，具体例】	
※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。	
話し合いを促す示し方	具体例
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「道徳科って何を学ぶの？」の中に，話し合いのポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科って何を学ぶの？」 《多様な考えを知るために》 ① 自分の考えをもち、積極的に発言する ② そのように考えた理由などを添えて伝える ③ 友達の話をしっかり聴いて受けとめる ④ 一人一人の考えや意見を尊重する ⑤ 自分の考えと比較しながら聴く ⑥ 友達の意見に対する疑問や、さらに聴きたい点について質問する (p 4, 5)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「教科書の使い方」のページで，話し合いを促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教科書の使い方」 ・ 教材を読んで、感じたこと、考えたことを書いたり、みんなで話し合ったりしましょう。 (p 6)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の冒頭で，話し合いを促している。 [第2学年] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：こんなとき、どうしたらいいの？ [第2学年] ・ 障害がある人とない人が、差別されることなく、お互いを尊重し、共に安心して暮らすには、どうしたらよいか考え、話し合みましょう。 (p 9 6)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の終わり「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに，教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：パーソナリティー ・ 自分自身のよさは、どこにあるのか。それをどのように伸ばしていくことができるのか考え、話し合ってみましょう。 (p 2 5)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の終わり「コラム」で，話し合いを促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「もっと知りたい ネット・コミュニケーション」 ・ インターネットによる「コミュニケーション」は、確かに便利ですが、“なぜ自分はネットを使うのか” “どのような、コミュニケーションが望ましいのか”などを、家族、友達、先生なども含めて話し合ってみましょう。 (p 1 0 3)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭では、「道徳科って何を学ぶの？」に話し合いのポイントを示し、「教科書の使い方」のページでは，話し合いを促している。また，教材の終わり「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに教材における話し合いを促す発問を示したり，教材の終わり「コラム」で話し合いを促したりしている。 	

日科

【中学校「特別の教科 道徳」】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑫考えをまとめたり，振り返ったりする活動の工夫
方 法	○考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方，まとめや振り返りの頻度数，具体例

発行者	調査・研究内容		
東書	【考えをまとめる活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例
	・ 教材の途中や終わりに，考えをまとめて書き込む欄を設けている。	【7～9教材】	○ 教材名：傍観者でいいのか ・ このようないじめの状況を作らないために，私たちはどうすればよいでしょう。 (p 29)
	・ 教材の下段に，感じたことや考えたことなどを，自由に書き込む欄を設けている。	【30～36教材】	○ 教材名：全てがリオでかみ合った ・ 「つぶやき」を書き込む行が3行ある。 (p 13)
	【振り返る活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例
・ 巻末に，授業の取組についての振り返り，心に残った教材や授業で学んでよかったこと，来期の取り組み方を記録する振り返りのページを設けている。	【3回分】 (4項目)	○ 「自分の学びをふり返ろう」 ・ 授業の取り組みについてふり返ってみよう。 ・ 今学期（今期）に読んだ教材の中で，心に残ったものは何ですか。どのようなことが心に残っていますか。 (p 177)	
<ul style="list-style-type: none"> 教材の途中や終わりに，考えをまとめて書き込む欄を設けた教材がある（7～9教材）。また，ほとんどの教材に，感じたことなどを書き込む欄を設けている。 巻末に，授業の取組についての振り返り，心に残った教材や授業で学んでよかったこと等を記録する振り返りのページを，3回分設けている。 			

学図	【考えをまとめる活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりに，メモする欄を設けている。 	【26～33教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：誰も知らない <ul style="list-style-type: none"> メモ欄が3行ある。(p13)
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の後の「心の扉」のページに，考えをまとめて書き込む欄がある。 	【19～20教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：言葉の壁は「日本舞踊」で乗り越えた <ul style="list-style-type: none"> あなたが知っている日本の伝統や文化の中で，大切にしたいと思っているものはどんなことか。(p19)
	【振り返る活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例
<ul style="list-style-type: none"> 思ったことや感じたことについて，教材ごとに学習の振り返りができる欄を設けている。 	【年間3回分】 (教材ごと) (2項目)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの記録」 <ul style="list-style-type: none"> どのような学習をしたか。 自分はどんなことを考えたか。友達の意見でどのようなことが印象に残ったか。(p81) 	
<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，一年間の学習を振り返る欄を設けている。 	【1回分】 (2項目)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「一年間の振り返り」 <ul style="list-style-type: none"> 一年間の道徳の学習で，どのようなことを深く考え，どのように行動できるようになったと思うか。 自分のもっと伸ばしたいところ，変えたいところについて，これからどのようにしていきたいか。(p222) 	
<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりにメモ欄，半数以上の教材の後にある「心の扉」のページに，考えをまとめて書き込む欄を設けている。 思ったことや感じたことについて，教材ごとに学習の振り返りができる欄を設けている。また，巻末に，一年間の学習を振り返る欄を設けている。 			

教出	【考えをまとめる活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」のページに，自分の考えや感想等を書き込む欄を設けている。 	【1～2教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：不自然な独り言 <ul style="list-style-type: none"> ・ バスターミナルで，お年寄りが困った様子で周りを見回しています。さあ，勇気を出して声をかけてみましょう。お年寄り役の人は，困っている理由も言ってください。演じたあとに，感想を書きましょう。（p 27）
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の途中で，理由や気が付いたこと等を書き込む欄を設けている。〔第1学年〕 	【3教材分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：あなたならどうしますか〔第1学年〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ この後，正人はどうすると思いますか。①～⑥から選び，その理由を書きましょう。（p 96）
	【振り返る活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，印象に残った教材等を記録する欄を設けている。 	【3教材分】 (2項目)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学びを記録しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような教材が心に残っていますか。そして，そこからあなたは何を考え，何を学びましたか。学期ごとに記録していきましょう。（p 190）
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，新しい発見等があった教材に色を塗る欄である「心かがやき度」を設けている。 	【教材ごと】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学びを記録しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習して，新しい発見があったりためになったと感じたりした教材に，自分なりに色を塗ってみましょう。（p 191）
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，どんな自分になりたいかを，家の人や先生も含め書き込む欄を設けている。 	【1回分】 (3項目)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どんな〇年生になりたいか」〔第1・2学年〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたは，どんな〇年生になりたいですか？ ・ 家の人から ・ 先生から（p 192） ○ 「そして，未来へ……」〔第3学年〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたは，どんな大人になりたいですか？

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の人から ・ 先生から <p>(p 176)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やってみよう」に、自分の考えや感想等を書く欄を設けた教材が 1～2 教材、また、第 1 学年のみ、教材の途中で理由等を書く欄を設けたページが 3 教材ある。 ・ 巻末に、印象に残った教材等（3 教材分）を記録したり、新しい発見等があった教材に色を塗ったりする欄がある。また、どんな自分になりたいかを、家の人や先生も含めて記入する欄を設けている。 			

光村	【考えをまとめる活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりや途中の「てびき」に，自分が感じたことや考えたことを書き込む欄を設けている。 	【32～33教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：自分で決めるって？ <ul style="list-style-type: none"> 「私の気づき」を書き込む行が5行ある。 (p11)
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の途中に，自分の考えを書き込む欄を設けている。 [第2・3学年] 	【第2学年：1教材分】 【第3学年：2教材分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：嫌われるのを恐れる気持ち [第2学年] <ul style="list-style-type: none"> 互いの考えを聞き合う前と後とで，自分の考えがどう深まったか，どう変わったかをまとめよう。 (p177)
	【振り返る活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，シーズンごとの自分の学びの振り返りや考えを記述する折り込みページを設けている。 	【4回分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの記録」 <ul style="list-style-type: none"> シーズンごとに，自分の学びを振り返ってみよう。シーズンの中で，学んだことが生かせたと思った出来事，自分の考えが変わってきたなと思えたこと，学んだことを生かしていきたいと思ったことなど，自由に書き留めておこう。
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，自分の将来を想像し，人生目標を書く年表を設けている。[第3学年] 	【1回分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人生目標年表を書こう」 [第3学年] <ul style="list-style-type: none"> まだ，先のことはわからないかもしれないけれど，自分の将来を想像して，現時点の人生目標を左の年表に書いてみよう。 (p224)
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わりや途中の「てびき」に，自分が感じたことや考えたことを記入する欄を設けている。また，第2・3学年において，教材の途中に自分の考えを記入する欄を設けたページがある（1～2教材分）。 巻末に，シーズンごとの自分の学びの振り返りや考えを記述する折り込みページ，第3学年においては，自分の人生目標を書く年表を設けている。 		

日文	【考えをまとめる活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「道徳ノート」に，教材の終わり「考えてみよう」や「自分に+1」のコーナーに掲載された発問について，自分で考えたことなどを書き込む欄を設けている。 	【教材ごと】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：サッカーの漫画を描きたい <ul style="list-style-type: none"> 漫画を描くうえでのさまざまな困難にも負けず，高橋さんはなぜ努力できたのだろう。 友達の意見や話し合いをメモしよう。（p 2）
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「道徳ノート」の巻末に，話し合いの内容をメモしたりまとめたりする欄を設けている。 	【年間6回分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「MEMO」 <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの内容をメモしたりまとめたりしよう。（p 37）
	【振り返る活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「道徳ノート」に，授業で学んだこと等について振り返る欄を設けている。 	【教材ごと】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分への振り返り」 <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業の内容は印象に残った／残らなかった 友達の意見や話し合いから，新しい発見や気づきがあった／なかった 自分の考えを深めることができた／できなかった これから大切にしたいことがわかった／わからなかった <p style="text-align: right;">（p 2）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「道徳ノート」の巻末に，道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する保護者記入欄付きの振り返りのページを設けている。 	【3回分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> 印象に残った学習と，なぜ印象に残ったのかを学期末などに書きましよう。（p 40）
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「道徳ノート」に，教材の終わりに掲載された発問について，自分で考えたことなどを書き込む欄（各教材分）や，巻末に話し合いの内容をメモしたりまとめたりする欄を設けている（6回分）。 別冊「道徳ノート」に，授業で学んだこと等について振り返る欄（各教材分）や，巻末に道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する保護者記入欄付きの振り返りのページを設けている（3回分）。 		

学研	【考えをまとめる活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わり「クローズアップ」に，自分の考えを書き込む欄を設けている。 	【2～9教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「クローズアップ 自分に合う仕事」 <ul style="list-style-type: none"> 自分に合うのはどんな仕事か、考えてみよう。(p 15)
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わり「深めよう」に，自分の考えを書き込む欄を設けている。 	【2～3教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう SNSでのいじめについて考える」 <ul style="list-style-type: none"> 《考えを整理しよう》 SNSでの会話には，どんな問題点があるか考えてみよう。(p 27)
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の途中に，自分の考えを書き込む欄を設けている。 	【1～2教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：キャッチ アンドリリース <ul style="list-style-type: none"> 都道府県や市町村によってルールが異なるのは，なぜだろう。(p 84)
	【振り返る活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。		
	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わり「深めよう」のページに，話し合いを振り返って気付いたことを書き込む欄を設けている。 	【4回分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう SNSでのいじめについて考える」 <ul style="list-style-type: none"> 《振り返ろう》 話し合いから，新たに気付いたことを書こう。(p 27)
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，1年間の自分の成長を振り返るページを設けている。 	【1回分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「心の四季」 <ul style="list-style-type: none"> 大切な友達に贈りたい言葉 思いついたり見付けたりしたとっておきの言葉 頑張っている自分に贈りたい言葉 心の成長につながったきっかけ (p 179)
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に，未来への自分に手紙を書く欄を設けている。 〔第3学年〕 	【1回分】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「未来への扉」〔第3学年〕 <ul style="list-style-type: none"> 20歳の自分，就職した自分，親になった自分……未来の自分へ手紙を書こう。(p 183)

	<ul style="list-style-type: none"> 教材の終わり「クローズアップ」や「深めよう」、教材の途中で、自分の考えを書き込む欄を設けている教材がある。 教材の終わり「深めよう」のページに、話し合いを振り返って気付いたことを書く欄を設けている（4教材）。また、巻末に、1年間の自分の成長を振り返るページを設けている。 																		
<p style="text-align: center;">廣あかつ き</p>	<p>【考えをまとめる活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">考えをまとめる活動の示し方</th> <th style="width: 20%;">頻度数</th> <th style="width: 40%;">具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="363 528 774 745"> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、自分の考えや、学習を通して感じたこと、考えたことを書き込む欄を設けている。 </td> <td data-bbox="774 528 1002 745" style="text-align: center;"> 【22回分】 </td> <td data-bbox="1002 528 1393 745"> ○ 「自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ」 <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して感じたこと、考えたことをまとめてみよう。 (p 3) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 745 774 931"> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、話し合いを通して新たに気づいたことや考えたことを書き込む欄を設けている。 </td> <td data-bbox="774 745 1002 931" style="text-align: center;"> 【4回分】 </td> <td data-bbox="1002 745 1393 931"> ○ 「話し合い活動の記録」 <ul style="list-style-type: none"> 今の自分の考え 話し合いを通して新たに気づいたこと・考えたこと (p 54・55) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 931 774 1043"> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、学習の記録を書き込む欄を設けている。 </td> <td data-bbox="774 931 1002 1043" style="text-align: center;"> 【15回分】 </td> <td data-bbox="1002 931 1393 1043"> ○ 学習の記録 (p 56～60)</td> </tr> </tbody> </table>	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、自分の考えや、学習を通して感じたこと、考えたことを書き込む欄を設けている。 	【22回分】	○ 「自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ」 <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して感じたこと、考えたことをまとめてみよう。 (p 3) 	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、話し合いを通して新たに気づいたことや考えたことを書き込む欄を設けている。 	【4回分】	○ 「話し合い活動の記録」 <ul style="list-style-type: none"> 今の自分の考え 話し合いを通して新たに気づいたこと・考えたこと (p 54・55) 	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、学習の記録を書き込む欄を設けている。 	【15回分】	○ 学習の記録 (p 56～60)						
	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例																
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、自分の考えや、学習を通して感じたこと、考えたことを書き込む欄を設けている。 	【22回分】	○ 「自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ」 <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して感じたこと、考えたことをまとめてみよう。 (p 3) 																
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、話し合いを通して新たに気づいたことや考えたことを書き込む欄を設けている。 	【4回分】	○ 「話し合い活動の記録」 <ul style="list-style-type: none"> 今の自分の考え 話し合いを通して新たに気づいたこと・考えたこと (p 54・55) 																
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、学習の記録を書き込む欄を設けている。 	【15回分】	○ 学習の記録 (p 56～60)																
	<p>【振り返る活動の示し方，頻度数，具体例】 ※ 具体例で，学年を明記していないものは，第1学年のものである。</p>																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">振り返る活動の示し方</th> <th style="width: 20%;">頻度数</th> <th style="width: 40%;">具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="363 1189 774 1375"> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、自分のことについて振り返って書き込む欄を設けている。 </td> <td data-bbox="774 1189 1002 1375" style="text-align: center;"> 【5～8回分】 </td> <td data-bbox="1002 1189 1393 1375"> ○ 「度を過ぎさず、調和のある生活をする」 <ul style="list-style-type: none"> 今の自分の生活習慣を振り返って考えてみよう。 (p 5) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1375 774 1520"> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業の記録を書き込む欄を設けている。 </td> <td data-bbox="774 1375 1002 1520" style="text-align: center;"> 【4回分】 </td> <td data-bbox="1002 1375 1393 1520"> ○ 「心に残っている授業の記録」 <ul style="list-style-type: none"> 心に残っている理由 (p 52) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1520 774 1666"> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、教材ごとに自己評価をする折り込みページを設けている。 </td> <td data-bbox="774 1520 1002 1666" style="text-align: center;"> 【教材ごと】 </td> <td data-bbox="1002 1520 1393 1666"> ○ 自己評価（5段階）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1666 774 1814"> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、内容項目ごとに自己評価をする折り込みページを設けている。 </td> <td data-bbox="774 1666 1002 1814" style="text-align: center;"> 【内容項目ごと】 </td> <td data-bbox="1002 1666 1393 1814"> ○ 自己評価（5段階）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1814 774 2029"> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、伸ばしていきたいことや今後の目標について振り返る折り込みページを設けている。 </td> <td data-bbox="774 1814 1002 2029" style="text-align: center;"> 【4回分】 </td> <td data-bbox="1002 1814 1393 2029"> ○ 「心のしおり」 <ul style="list-style-type: none"> 伸ばしていきたいこと・今後の目標 振り返って、どうだったか／この1年の自分を振り返って </td> </tr> </tbody> </table>	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、自分のことについて振り返って書き込む欄を設けている。 	【5～8回分】	○ 「度を過ぎさず、調和のある生活をする」 <ul style="list-style-type: none"> 今の自分の生活習慣を振り返って考えてみよう。 (p 5) 	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業の記録を書き込む欄を設けている。 	【4回分】	○ 「心に残っている授業の記録」 <ul style="list-style-type: none"> 心に残っている理由 (p 52) 	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、教材ごとに自己評価をする折り込みページを設けている。 	【教材ごと】	○ 自己評価（5段階）	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、内容項目ごとに自己評価をする折り込みページを設けている。 	【内容項目ごと】	○ 自己評価（5段階）	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、伸ばしていきたいことや今後の目標について振り返る折り込みページを設けている。 	【4回分】	○ 「心のしおり」 <ul style="list-style-type: none"> 伸ばしていきたいこと・今後の目標 振り返って、どうだったか／この1年の自分を振り返って
	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例																
	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、自分のことについて振り返って書き込む欄を設けている。 	【5～8回分】	○ 「度を過ぎさず、調和のある生活をする」 <ul style="list-style-type: none"> 今の自分の生活習慣を振り返って考えてみよう。 (p 5) 																
<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業の記録を書き込む欄を設けている。 	【4回分】	○ 「心に残っている授業の記録」 <ul style="list-style-type: none"> 心に残っている理由 (p 52) 																	
<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、教材ごとに自己評価をする折り込みページを設けている。 	【教材ごと】	○ 自己評価（5段階）																	
<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、内容項目ごとに自己評価をする折り込みページを設けている。 	【内容項目ごと】	○ 自己評価（5段階）																	
<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、伸ばしていきたいことや今後の目標について振り返る折り込みページを設けている。 	【4回分】	○ 「心のしおり」 <ul style="list-style-type: none"> 伸ばしていきたいこと・今後の目標 振り返って、どうだったか／この1年の自分を振り返って 																	

	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「中学生の道徳ノート」に、自分の考えや、学習を通して感じたこと、考えたことをまとめる欄、話し合いを通して新たに気づいたことや考えたことをまとめる欄、学習の記録を書く欄を設けている。 別冊「中学生の道徳ノート」に、自分のことについて振り返って書く欄、心に残っている授業の記録を書く欄、教材ごとや内容項目ごとの自己評価、伸ばしていきたいことなどについて振り返る折り込みページを設けている。 									
日科	<p>【考えをまとめる活動の示し方、頻度数、具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 526 758 571">考えをまとめる活動の示し方</th> <th data-bbox="758 526 981 571">頻度数</th> <th data-bbox="981 526 1394 571">具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 571 758 862"> <ul style="list-style-type: none"> 教材の途中に、自分の考えを書き込む欄を設けている。 </td> <td data-bbox="758 571 981 862">【0～1教材】</td> <td data-bbox="981 571 1394 862"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：二つの足跡 <ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜の研究をしているチームがある地層を調べると、二つの恐竜の足跡らしきものが発見されました。一体ここで何が起きたのでしょうか？ (p 70) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 862 758 1187"> <ul style="list-style-type: none"> コラムに自分の考えを書き込む欄を設けている。 </td> <td data-bbox="758 862 981 1187">【2～3教材】</td> <td data-bbox="981 862 1394 1187"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じものを見たり、聞いたり、同じ問題に直面したときに、友達や家族が自分とは違う考えだったことはありますか。その時、あなたはどのように感じましたか。 (p 72) </td> </tr> </tbody> </table>	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例	<ul style="list-style-type: none"> 教材の途中に、自分の考えを書き込む欄を設けている。 	【0～1教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：二つの足跡 <ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜の研究をしているチームがある地層を調べると、二つの恐竜の足跡らしきものが発見されました。一体ここで何が起きたのでしょうか？ (p 70) 	<ul style="list-style-type: none"> コラムに自分の考えを書き込む欄を設けている。 	【2～3教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じものを見たり、聞いたり、同じ問題に直面したときに、友達や家族が自分とは違う考えだったことはありますか。その時、あなたはどのように感じましたか。 (p 72)
	考えをまとめる活動の示し方	頻度数	具体例							
	<ul style="list-style-type: none"> 教材の途中に、自分の考えを書き込む欄を設けている。 	【0～1教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名：二つの足跡 <ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜の研究をしているチームがある地層を調べると、二つの恐竜の足跡らしきものが発見されました。一体ここで何が起きたのでしょうか？ (p 70) 							
<ul style="list-style-type: none"> コラムに自分の考えを書き込む欄を設けている。 	【2～3教材】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じものを見たり、聞いたり、同じ問題に直面したときに、友達や家族が自分とは違う考えだったことはありますか。その時、あなたはどのように感じましたか。 (p 72) 								
<p>【振り返る活動の示し方、頻度数、具体例】</p> <p>※ 具体例で、学年を明記していないものは、第1学年のものである。</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 1265 758 1332">振り返る活動の示し方</th> <th data-bbox="758 1265 981 1332">頻度数</th> <th data-bbox="981 1265 1394 1332">具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 1332 758 1814"> <ul style="list-style-type: none"> 巻末に、1年間の成長や道徳の授業等について振り返るページを設けている。 </td> <td data-bbox="758 1332 981 1814">【1回】</td> <td data-bbox="981 1332 1394 1814"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「私の道徳記録」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の心の成長を振り返りましょう ・ 1年生の道徳の時間を振り返りましょう。 ・ これからの心の成長について考えよう。 ・ 3年間の道徳の授業について振り返ってみましょう。〔第3学年〕 ・ 私の心を動かした3年間のできごと〔第3学年〕 (p 190, 191) </td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="359 1814 1394 1995"> <ul style="list-style-type: none"> 教材の途中やコラムに、自分の考えを書き込む欄を設けた教材が3～4教材ある。 巻末に、1年間の成長や道徳の授業等について振り返るページを設けている。 </td> </tr> </tbody> </table>	振り返る活動の示し方	頻度数	具体例	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に、1年間の成長や道徳の授業等について振り返るページを設けている。 	【1回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私の道徳記録」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の心の成長を振り返りましょう ・ 1年生の道徳の時間を振り返りましょう。 ・ これからの心の成長について考えよう。 ・ 3年間の道徳の授業について振り返ってみましょう。〔第3学年〕 ・ 私の心を動かした3年間のできごと〔第3学年〕 (p 190, 191) 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の途中やコラムに、自分の考えを書き込む欄を設けた教材が3～4教材ある。 巻末に、1年間の成長や道徳の授業等について振り返るページを設けている。 			
振り返る活動の示し方	頻度数	具体例								
<ul style="list-style-type: none"> 巻末に、1年間の成長や道徳の授業等について振り返るページを設けている。 	【1回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私の道徳記録」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の心の成長を振り返りましょう ・ 1年生の道徳の時間を振り返りましょう。 ・ これからの心の成長について考えよう。 ・ 3年間の道徳の授業について振り返ってみましょう。〔第3学年〕 ・ 私の心を動かした3年間のできごと〔第3学年〕 (p 190, 191) 								
<ul style="list-style-type: none"> 教材の途中やコラムに、自分の考えを書き込む欄を設けた教材が3～4教材ある。 巻末に、1年間の成長や道徳の授業等について振り返るページを設けている。 										